本書をよくお読みになって製品をご利用ください。

ユーザーズガイド
－ネットワーク　操作編－

困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、
故障かな？と思ったときなどは、
右記の手順で原因をお調べください。

1 ネットワーク設定について困ったときは

第6章
困ったときは（トラブル対処方法）

2 ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる

http://solutions.brother.co.jp/

サポート ブラザー　検 索

オンラインユーザー登録をお勧めします。

ブラザーマイポータル

ブラザーマイポータル会員専用サイト

ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

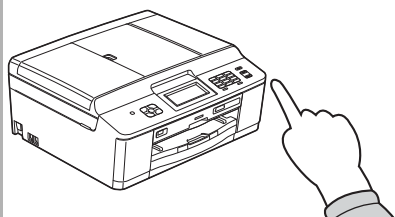
オンラインユーザー登録 ▶ https://myportal.brother.co.jp/

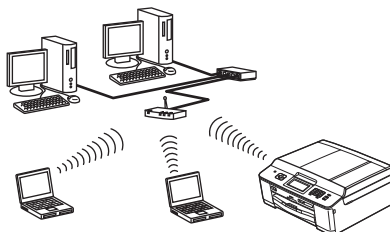
Version A JPN

目　次

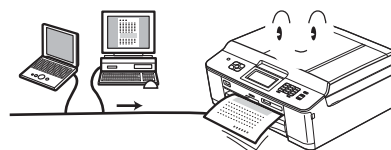
やりたいこと目次

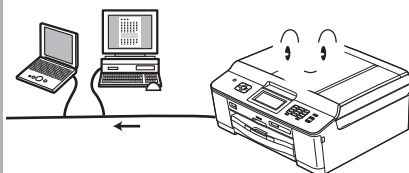
操作パネルを使ってネットワークの設定をする

操作パネルのボタンを使用して、ネットワーク上で本製品を使用するための設定ができます。
P.4-2

無線 LAN を使う

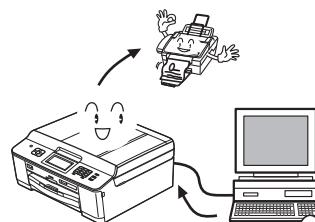
LAN ケーブルを使用しないで、無線でネットワークに接続できます。
P.3-2

ネットワークプリンターとして使う

本製品をネットワーク環境で使用します。ネットワーク上の複数のパソコンから印刷できます。
P.2-2

⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンター」

ネットワークスキャナーとして使う

本製品をネットワーク上で共有できるスキャナーとして利用できます。P.5-2

ネットワーク PC-FAX を使う

(**MFC** モデルのみ)
パソコン上のアプリケーションで作成したファイルを印刷せずに送信できます。P.5-6

ネットワーク PC-FAX 受信機能
(Windows® のみ) については、
下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「パソコンでファクスを受信する」

ネットワークリモートセットアップ

(**MFC** モデルのみ)
本製品にネットワーク経由でアクセスして、各種設定を変更できます。P.5-8

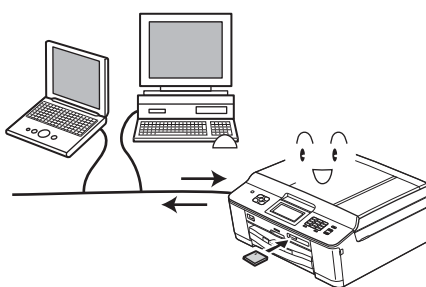
BRAdmin Light を使って本製品を管理する

付属のソフトウェア **BRAdmin Light** を使ってアクセスし、管理や設定をすることができます。
P.2-2

ネットワークでメディアを利用する［ネットワークメディアカードアクセス］

ネットワークで接続された複数のパソコンから、本製品にセットしたメモリーカードや USB フラッシュメモリーなどのメディアにアクセスできます。
詳しくは、下記をご覧ください。

Windows® の場合
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「パソコンからメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを使う」－「ネットワーク経由でメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする」

Macintosh の場合
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh からメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを使う」－「ネットワーク経由でメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする」

第 1 章
はじめに

第 1 章 はじめに

本書の見かた

本文中では、マークおよび商標について、次のように表記しています。

マークについて

	本製品をお使いになるにあたって、注意していただきたいことがらを説明しています。
	本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。

イラストについて

外観イラスト、および操作パネルのボタンのイラストは、MFC-J840N を代表で使用しています。
モデル特有の機能の場合は、該当モデルのボタンのイラストを使用しています。
お使いのモデルによっては本書で使用している操作パネルのボタンとデザインが異なる場合があります。該当するボタンに読み替えてください。

編集ならびに出版における通告

本マニュアルならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
ブラザー工業株式会社は、本書に掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

ネットワークの概要

本製品のネットワークインターフェイスを利用して LAN または WAN に接続し、ネットワーク上のパソコンから本製品で原稿のスキャンや印刷ができます。
本製品は、IEEE802.11b/g/n 無線ネットワークに対応し、無線認証およびセキュリティーを使用したインフラストラクチャ通信またはアドホック通信で動作します。
付属のソフトウェア BRAdmin Light を使用して、ネットワークインターフェイスの設定ができます。
本書は、本製品をネットワーク上で使用するために必要な設定方法について説明しています。
パソコンの OS、製品のモデルによって、使用できるネットワーク機能が異なります。詳細は以下をご覧ください。

OS

機能	Windows® XP/Windows Vista®/Windows® 7	Windows Server® 2003/ 2003 x64 Edition	Windows Server® 2008/ 2008 R2	Mac OS X v10.5.8、10.6.x、10.7.x
ネットワークプリンター ⇒「ネットワークを設定する」P.2-2 ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンター」	○	○ [*1]	○	○
ネットワークスキャン ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「スキャナー」	○	−	−	○
ネットワーク PC-FAX 送信 ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「PC-FAX（MFC モデルのみ）」	○	−	−	○
ネットワーク PC-FAX 受信 ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「PC-FAX（MFC モデルのみ）」	○	−	−	−
ネットワークメディアカードアクセス	○	−	−	○
管理ユーティリティー BRAdmin Light ⇒「BRAdmin Light で設定する」P.2-2	○	○	○	○
管理ユーティリティー BRAdmin Professional ⇒「その他の管理ユーティリティーで設定する」P.2-5	○	○	○	−
ネットワークリモートセットアップ ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「リモートセットアップ（MFC モデルのみ）」	○	−	−	○
ステータスモニター Windows® の場合 ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「印刷状況やインク残量を確認する（ステータスモニター）」 Macintosh の場合 ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「印刷状況を確認する（ステータスモニター）」	○	−	−	○
Vertical Pairing ⇒ユーザーズガイド ネットワーク知識編「Vertical Pairing を使用する（Windows® 7 のみ）」	○ [*2]	−	−	−

*1 Windows Server® 2003 R2/2003 R2 x64 Edition も含みます。
*2 Windows® 7 のみ

モデル

機能	無線 LAN モデル			有線 LAN/ 無線 LAN 両対応モデル	
	DCP-J540N	DCP-J740N	MFC-J810DN MFC-J810DWN MFC-J860DN MFC-J860DWN	DCP-J940N	MFC-J840N MFC-J960DN MFC-J960DWN
ネットワークプリンター ⇒「ネットワークを設定する」 P.2-2 ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンター」	○	○	○	○	○
ネットワークスキャン ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「スキャナー」	○	○	○	○	○
ネットワーク PC-FAX 送信 ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「PC-FAX（MFC モデルのみ）」	–	–	○	–	○
ネットワーク PC-FAX 受信 ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「PC-FAX（MFC モデルのみ）」	–	–	○	–	○
ネットワークメディアカードアクセス	–	○	○	○	○
管理ユーティリティー BRAdmin Light ⇒「BRAdmin Light で設定する」 P.2-2	○	○	–	○	○
管理ユーティリティー BRAdmin Professional ⇒「その他の管理ユーティリティーで設定する」P.2-5	○	○	–	○	○
ネットワークリモートセットアップ ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「リモートセットアップ（MFC モデルのみ）」	–	–	○	–	○
ステータスモニター Windows® の場合 ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「印刷状況やインク残量を確認する（ステータスモニター）」 Macintosh の場合 ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「印刷状況を確認する（ステータスモニター）」	○	○	○	○	○
Vertical Pairing ⇒ユーザーズガイド ネットワーク知識編 「Vertical Pairing を使用する（Windows® 7 のみ）」	○	○	○	○	○

無線 LAN 機器使用の際のご注意

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

無線電波の使用可能距離は、最大 70m です。本製品の設置場所や周囲の環境、また使用する機器の種類により、使用可能距離や通信速度は異なります。

第 2 章
ネットワークを設定する

第 2 章 ネットワークを設定する

ネットワークを設定するには、次の方法があります。

操作パネルから設定する

本製品のネットワーク設定を操作パネルからネットワークメニューを使用して設定できます。
⇒「操作パネルで設定する」P.4-2

BRAdmin Light で設定する

BRAdmin Light は、ネットワークに接続された本製品の初期設定をするユーティリティーソフトです。ネットワーク上の本製品の検索やステータス表示、IP アドレスなどのネットワークの基本設定が行えます。

- TCP/IP ネットワークで接続された本製品を自動的に検索し、IP アドレスなどのネットワーク設定を変更できるので、ネットワーク管理が簡単に行えるようになります。
- BRAdmin Light は、Windows® XP/Windows Vista®、Windows® 7、Windows Server® 2003/2008 および Mac OS X v10.5.8 以降に対応しています。
- さらに高度なプリンター管理を必要とする場合は、BRAdmin Professional（Windows® のみ）をご利用ください。BRAdmin Professional は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター http://solutions.brother.co.jp/）からダウンロードしてご使用ください。

アンチウィルスソフトのファイアウォール機能が設定されている場合、BRAdmin Light の「稼働中のデバイスの検索」機能が利用できないことがあります。利用する場合は、一時的にファイアウォール機能を無効にしてください。

BRAdmin Light をインストールする

Windows® の場合

あらかじめ、BRAdmin Light をインストールする必要があります。次の手順でインストールを行ってください。

起動しているアプリケーションがある場合は、終了させてからインストールを始めてください。

付属のドライバー＆ソフトウェア CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
トップメニュー画面が表示されます。

［カスタムインストール］－［ネットワークユーティリティ］をクリックします。

［BRAdmin Light］をクリックします。
画面の指示に従って、インストールします。

Macintosh の場合

プリンタードライバーをインストールすると BRAdmin Light も自動的にインストールされます。すでにプリンタードライバーをインストールしている場合は、再度インストールする必要はありません。

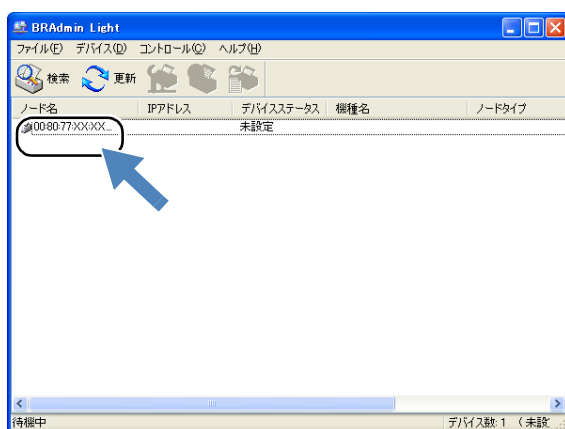
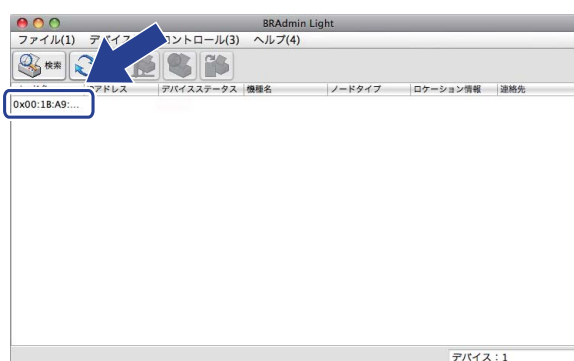
IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定する

- 最新の BRAdmin Light はサポートサイト（ブラザーソリューションセンター http://solutions.brother.co.jp/）からダウンロードできます。
- さらに高度なプリンター管理を必要とされる場合は、BRAdmin Professional（Windows® のみ）をご利用ください。
  BRAdmin Professional はサポートサイト（ブラザーソリューションセンター http://solutions.brother.co.jp/）からダウンロードできます。
- BRAdmin Light を操作するパソコンで、ファイアウォールを有効にしている場合は、BRAdmin Light の「稼動中のデバイスの検索」機能が利用できません。利用する場合は、一時的にファイアウォールを無効に設定してください。
- BRAdmin Light で表示される本製品のお買い上げ時ノード名は、有線 LAN の場合は［BRNxxxxxxxxxxxx］、無線 LAN の場合は［BRWxxxxxxxxxxxx］となっています。（「xxxxxxxxxxxx」は MAC アドレス（イーサネットアドレス）の 12 桁です。）

（Windows® の場合）
［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［BRAdmin Light］－［BRAdmin Light］の順にクリックします。

（Macintosh の場合）
［Macintosh HD］－［ライブラリ］－［Printers］－［Brother］－［Utilities］の［BRAdmin Light.jar］をダブルクリックします。

BRAdmin Light が新しいデバイスを自動的に検索します。

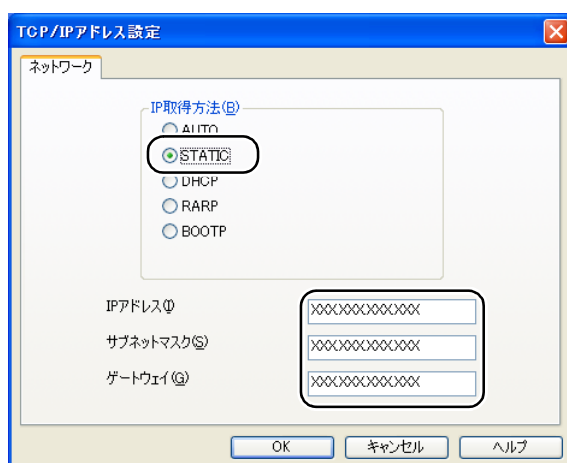
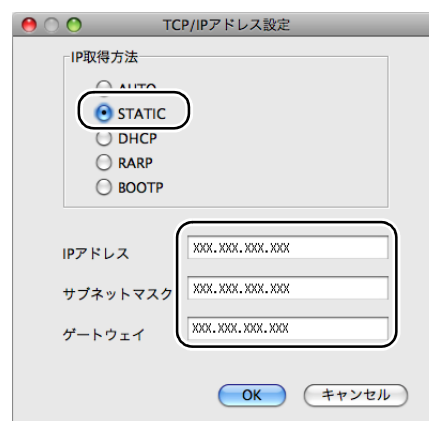
新しいデバイスをダブルクリックします。

Windows®

Macintosh

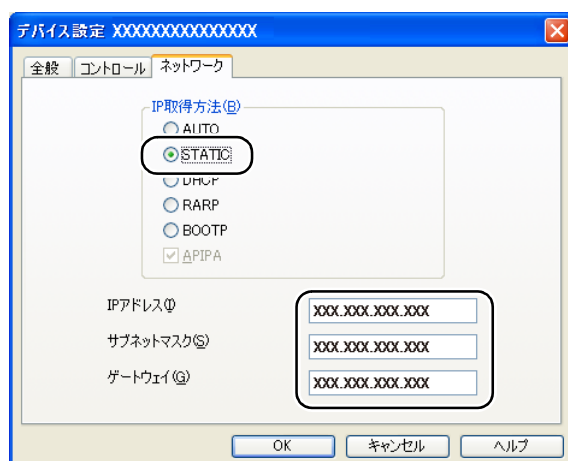
- ネットワークインターフェイスがすでに設定されている場合や IP アドレスの自動設定機能により IP アドレスが割り当て済みの場合には、デバイスステータスに［未設定］とは表示されません。その場合は、設定を変更せずに本製品を利用することをお勧めします。
- 本製品に現在設定されているノード名や MAC アドレスを調べる場合は、「ネットワーク設定リスト」を印刷してください。

  ⇒「ネットワーク設定リストの出力」P.4-10

  ノード名や MAC アドレスは、操作パネルからも確認できます。

  ⇒「操作パネルで設定する」P.4-2

3 ［STATIC］を選択して、［IP アドレス］、［サブネットマスク］、［ゲートウェイ］を入力します。

Windows®

Macintosh

（各項目がすでに設定されている場合）
［ネットワーク］タブをクリックします。

Windows®

Macintosh

4 ［OK］をクリックします。

本製品に IP アドレスが正しく設定されると、ウィンドウの左側にノード名およびプリンター名が表示されます。

その他の管理ユーティリティーで設定する

本製品では、BRAdmin Lignt 以外にも次のような管理ユーティリティーを使って、ネットワークの設定を変更できます。

BRAdmin Professional（Windows® のみ）

BRAdmin Professional は、ネットワークに接続されている本製品の管理をするためのユーティリティーです。Windows® システムが稼動するパソコンからネットワーク上の本製品の検索、状態の閲覧、ネットワーク設定の変更ができます。詳しい情報とダウンロードについては、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター http://solutions.brother.co.jp/）をご覧ください。

- 最新の BRAdmin Professional はサポートサイト（ブラザーソリューションセンター http://solutions.brother.co.jp/）からダウンロードできます。
- BRAdmin Professional を操作するパソコンで、ファイアウォールを有効にしている場合は、BRAdmin Professional の「稼動中のデバイスの検索」機能が利用できません。利用する場合は、一時的にファイアウォールを無効に設定してください。
- BRAdmin Professional で表示される本製品のお買い上げ時ノード名は、有線 LAN の場合は［BRNxxxxxxxxxxxx］、無線 LAN の場合は［BRWxxxxxxxxxxxx］となっています。（「xxxxxxxxxxxx」は MAC アドレス（イーサネットアドレス）の 12 桁です。）

第 3 章
無線 LAN を設定する

第 3 章 無線 LAN を設定する

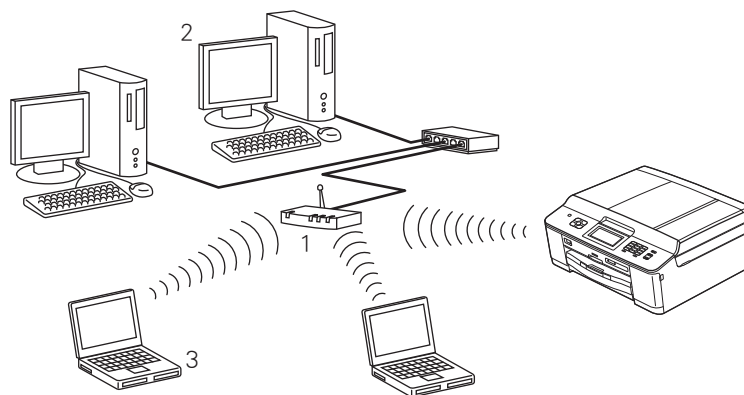
概要

本製品を無線 LAN に接続して使用する場合は、別冊の「かんたん設置ガイド」をご覧になり、ブラザーインストーラーから USB ケーブルを使用して無線 LAN を自動設定する方法をお勧めします。本製品をお使いの無線 LAN に簡単に接続することができます。
より詳しい無線 LAN 設定については、この章をご覧ください。TCP/IP の設定については、
⇒「BRAdmin Light で設定する」P.2-2 をご覧ください。
本書では、MFC-J810DN/J810DWN/J860DN/J860DWN に付属している電話機を「子機」、その置き台を「通信ボックス」と記載しています。

- 本製品を無線 LAN アクセスポイント（または無線 LAN 対応のパソコン）の近くに設置してください。
- 本製品の近くに、微弱な電波を発する電気製品（特に電子レンジやデジタルコードレス電話）を置かないでください。
- 本製品と無線 LAN アクセスポイントの間に、金属、アルミサッシ、鉄筋コンクリート壁があると、接続しにくくなる場合があります。
- MFC-J840N/J960DN/J960DWN および DCP-J940N は有線 LAN と無線 LAN の両方で使用できますが、同時に使用することはできません。どちらか一方を選択する必要があります。
- 環境によっては、有線 LAN 接続や USB 接続と比べて、通信速度が劣る場合があります。写真などの大きなデータを印刷する場合は、有線 LAN または USB 接続で印刷することをお勧めします。
- 無線 LAN 設定を行うには、お使いの無線 LAN アクセスポイントに設定されている SSID（ネットワーク名）とネットワークキーを調べておく必要があります。

ネットワーク環境を確認する

ネットワーク上の無線 LAN アクセスポイントとパソコンが接続されている場合（インフラストラクチャ通信）

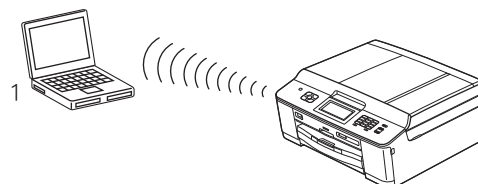
（推奨：本ガイドでは、インフラストラクチャ通信による設定について説明しています。）
インフラストラクチャ通信のネットワークでは、ネットワークの中心に無線 LAN アクセスポイントが設置され、有線のネットワークへ橋渡しをするほかにゲートウェイとしても機能します。本製品をインフラストラクチャモードに設定している場合は、すべての印刷ジョブを無線 LAN アクセスポイントを経由して受け取ります。

1　無線 LAN アクセスポイント
2　有線 LAN で無線 LAN アクセスポイントに接続されているパソコン
3　無線 LAN で無線 LAN アクセスポイントに接続されているパソコン

本製品の無線 LAN 設定をする場合は、次の 4 つの方法があります。

- 本製品に付属の CD-ROM に収録されているブラザーインストーラーを使用する（推奨）
- 無線 LAN アクセスポイントの簡単設定（WPS/AOSS™）を使用する
- 本製品の操作パネルから手動で無線 LAN 設定をする
- WPS の PIN コード入力方式を使用する

設定手順はご使用のネットワーク環境によって異なります。

ネットワーク上に無線 LAN アクセスポイントがなく、無線通信可能なパソコンが接続されている場合（アドホック通信）

アドホック通信のネットワークでは、無線 LAN アクセスポイントが存在しません。それぞれの無線機器は個別に直接通信します。本製品をアドホックモードに設定している場合は、印刷データを送信するパソコンからすべての印刷を直接受け取ります。

1　無線 LAN 対応のパソコン

- アドホック通信は、機器間のみで通信を行います。通信規格上セキュリティーレベルを高くすることができませんので、安全な無線通信を行うためにインフラストラクチャ通信をお勧めします。
- アドホック通信を行うための設定は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター http://solutions.brother.co.jp/）の「よくあるご質問（Q&A)」をご覧ください。

無線 LAN 設定を始める前に

- 本製品を接続する無線 LAN アクセスポイントが WPS または AOSS™ のどちらかに対応している場合は、操作パネルから無線 LAN アクセスポイントの簡単設定を使用して、自動で本製品の無線 LAN 設定ができます。設定の方法について詳しくは、別冊の「かんたん設置ガイド」をご覧ください。
- すでに本製品で無線 LAN 設定を行ったことがあり、設定をしなおす場合は、ネットワーク設定をリセットしてください。
  ⇒「ネットワーク設定リセット」P.4-7
- 一時的に接続して設定を行う USB ケーブルまたは LAN ケーブルが必要です。
- 手動設定を行うには、お使いの無線 LAN アクセスポイント（ルーターなど）に設定されている情報が必要です。必ず、無線 LAN アクセスポイントの設定を確認してください。
- 無線 LAN アクセスポイントに設定されている情報は本製品からは調べることができません。お使いの無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。それでもわからない場合は、お使いの無線 LAN アクセスポイントのメーカーにお問い合わせください。
- パーソナルファイアウォールをお使いの場合
  パソコンに、ファイアウォールなどの機能を持つソフトウェアがインストールされている場合は、いったん停止させるか UDP のポート 137 を有効に設定してから、ドライバーのインストールを行ってください。設定方法については、ソフトウェア提供元へご相談ください。
- Windows® のパーソナルファイアウォール機能について
  Windows® で、「インターネット接続ファイアウォール」が有効に設定されている場合は、次の手順で無効にしてから、ドライバーのインストールを行ってください。
  - Windows® XP SP1 の場合
    (1) コントロールパネルから、［ネットワーク接続］をクリックする
    (2) 使用しているネットワークアイコン（ローカルエリア接続など）を右クリックし、［プロパティ］をクリックする
    (3)［詳細設定］タブをクリックする
    (4)［インターネットからこのコンピューターへのアクセスを制御したり防いだりして、コンピューターとネットワークを保護する］のチェックをはずす
    (5) ドライバーのインストールが終わったら、ファイアウォールを有効に戻す
  - Windows® XP SP2 以降の場合
    (1) コントロールパネルから、［セキュリティ センター］をクリックする
    (2)［Windows ファイアウォール］をクリックする
    (3)［無効（推奨されません）］を選んで、［OK］をクリックする
    (4) ドライバーのインストールが終わったら、ファイアウォールを有効に戻す
    ※ ファイアウォールを有効に戻すと、ソフトウェアの一部の機能が利用できなくなります。
    ⇒「セキュリティーソフトウェアについて」P.6-6
  - Windows Vista® の場合
    (1) コントロールパネルから、［セキュリティ］をクリックする
    (2)［Windows ファイアウォールの有効化または無効化］をクリックする
    (3)［無効（推奨されません）］を選んで、［OK］をクリックする
    (4) ドライバーのインストールが終わったら、ファイアウォールを有効に戻す
    ※ ファイアウォールを有効に戻すと、ソフトウェアの一部の機能が利用できなくなります。
    ⇒「セキュリティーソフトウェアについて」P.6-6
  - Windows® 7 の場合
    (1) コントロールパネルから、［システムとセキュリティ］をクリックする
    (2)［Windows ファイアウォール］をクリックする
    (3)［Windows ファイアウォールの有効化または無効化］をクリックする
    (4)［Windows ファイアウォールを無効にする（推奨されません）］を選んで、［OK］をクリックする
    (5) ドライバーのインストールが終わったら、ファイアウォールを有効に戻す
    ※ ファイアウォールを有効に戻すと、ソフトウェアの一部の機能が利用できなくなります。
    ⇒「セキュリティーソフトウェアについて」P.6-6

無線 LAN を設定する

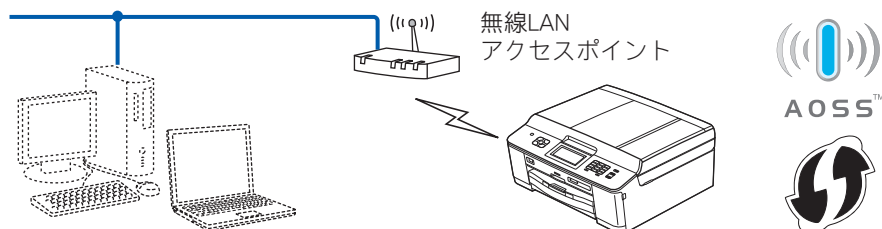
- 本製品を無線 LAN に接続する場合は、インストール前にネットワーク管理者にお問い合わせいただき、無線 LAN の設定を確認してください。
- すでに本製品で無線 LAN 設定を行ったことがあり、設定をしなおす場合は、ネットワーク設定をリセットしてください。
  ⇒「ネットワーク設定リセット」P.4-7

一時的に USB ケーブルを接続して設定する（推奨）

設定の方法について詳しくは、別冊の「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

無線 LAN 接続設定ができないまま、プリンタードライバーなどのインストールを進めると、エラーメッセージが表示されることがあります。本製品を無線 LAN 接続で使用する場合は、設定を完了してからインストールを行ってください。

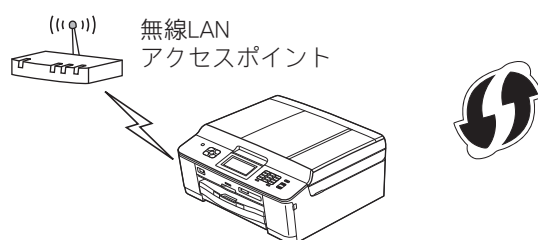
無線 LAN アクセスポイントの簡単設定（WPS/AOSS™）を使用する（インフラストラクチャ通信のみ）

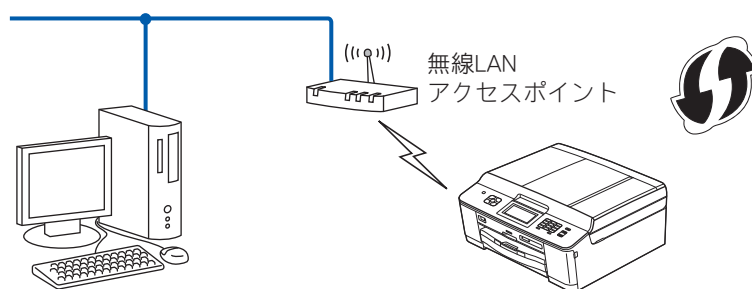
本製品を接続する無線 LAN アクセスポイントが WPS/AOSS™[*1]（PBC[*2] 方式）のどちらかに対応している場合は、操作パネルから無線 LAN アクセスポイントの簡単設定を使用して、自動で本製品の無線 LAN 設定ができます。
設定の方法について詳しくは、別冊の「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

[*1] WPS は Wi-Fi Protected Setup、AOSS™ は AirStation One-Touch Secure System の略です。
[*2] Push Button Configuration

WPS の PIN コード入力方式を使用する

本製品を接続する無線 LAN アクセスポイントが WPS に対応している場合は、WPS の PIN（Personal Identification Number：個人認証番号）方式を使用して本製品の無線 LAN 設定をすることもできます。

無線 LAN アクセスポイントをレジストラとして使用する場合の接続

無線 LAN アクセスポイントを無線 LAN のレジストラ（登録管理機器）として使用します。

パソコンなど別の機器をレジストラとして使用する場合の接続

無線 LAN アクセスポイントに接続しているパソコンなどを無線 LAN のレジストラ（登録管理機器）として使用します。

PIN コードを使用してネットワークに本製品を接続するには、お使いのルーターや無線 LAN アクセスポイントが WPS に対応している必要があります。次のロゴがついているかご確認ください。詳しくは、お使いの無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

（MFC-J810DN/J810DWN/J860DN/J860DWN の場合）
無線 LAN 接続を行う前は複合機本体と通信ボックスはアドホックモードで接続されています。複合機本体と通信ボックスが接続された状態で、無線 LAN 設定を行ってください。複合機本体と通信ボックスが同時に設定されます。

（DCP モデル、MFC-J840N/J960DN/J960DWN の場合）
【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【無線 LAN】（DCP-J540N/J740N では表示されません。）の順に押します。【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【WPS（PIN コード）】を押します。
（MFC-J810DN/J810DWN/J860DN/J860DWN の場合）
通信ボックスの電源が入っていることをご確認ください。
【メニュー】を押し、【ネットワーク】を押します。【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【WPS（PIN コード）】を押します。

（DCP モデル、MFC-J840N/J960DN/J960DWN/J860DN/J860DWN の場合）
【WPS（PIN コード）】は、画面上の【Wi-Fi】ボタンを押しても選択できます。

（DCP モデル、MFC-J840N/J960DN/J960DWN の場合）
本製品が有線 LAN に設定されていた場合は、【無線に切替えますか？】(DCP-J540N/J740N は、【無線 LAN をオンにしますか？】）というメッセージが表示されます。【はい】を押します。
（MFC-J810DN/J810DWN/J860DN/J860DWN の場合）
複合機本体と通信ボックスの接続状態を自動的に確認します。

画面に 8 桁の PIN コードが表示されます。

（MFC-J810DN/J810DWN/J860DN/J860DWN の場合）
接続が確認できない場合は、【通信ボックスと接続できません　待機画面にある［接続確認］を押して接続を確認してください /OK】と表示されます。【OK】を押した後、停止 / 終了 を押して待機画面へ戻り、【接続確認】を押してください。
【通信ボックスと接続できません　通信ボックスの電源を入れてください　もしくは本体の「通信ボックス接続リセット」を行ってください /OK】と表示されたら【OK】を押し、再度、通信ボックスの電源が入っているかをご確認ください。

- 通信ボックスの電源が入っていなかった場合
  AC アダプターの電源プラグを確実にコンセントに差し込んで、無線 LAN 設定を最初からやり直してください。
- 通信ボックスの電源が入っていた場合
  「通信ボックス接続リセット」を行い、接続方法をお買い上げ時の状態に戻してから、無線 LAN 設定を最初からやり直してください。
  ⇒「複合機本体と通信ボックスの接続がうまくいかないときは（MFC-J810DN/J810DWN/J860DN/J860DWN のみ）」P.6-11

本製品の PIN コードをパソコンから無線 LAN アクセスポイントまたはレジストラへ登録します。

正常に接続された場合は、【接続しました】と表示されます。

- 登録の方法について詳しくは、無線 LAN アクセスポイントまたはレジストラのマニュアルをご覧ください。
- WPS（PIN コード）設定中は最長で 5 分程度、操作ができなくなります。
- 設定を中止したい場合は、停止 / 終了 を押します。
- （MFC-J810DN/J810DWN/J860DN/J860DWN の場合）
  【接続しました しばらくお待ちください　通信ボックスとの接続を更新しています】と表示された場合は、複合機本体の接続設定完了後に、引き続き、通信ボックスとの接続更新を行っています。すべての設定が完了するまで、もうしばらくお待ちください。

接続設定が完了すると、自動的に無線 LAN レポートが印刷されます。

無線 LAN レポートの「Connection」の項目を確認してください。
「Connection:OK」と記載されていたら、正常に接続されました。

無線 LAN レポートに「Connection:Failed」と記載されていた場合は、接続に失敗しました。エラーコード（Error:TS-XX）を確認してください。エラーコードの内容については、別冊の「かんたん設置ガイド」の「困ったときは」をご覧になり、問題を解決してから、設定をやり直してください。

無線 LAN 接続ウィザードで無線 LAN 設定をする

本製品の操作パネルのネットワークメニューから、無線接続ウィザード機能を使って無線接続設定ができます。
本製品を接続する無線LANアクセスポイントがWPSに対応している場合は、WPS のPIN（Personal Identification Number：個人認証番号）方式を使用して本製品の無線 LAN 設定をすることもできます。
⇒「WPS の PIN コード入力方式を使用する」P.3-7

操作パネルから無線 LAN の手動設定を行う

- 本製品を SSID（ネットワーク名）とネットワークキーを使って、すでにお使いの無線 LAN ネットワークに参加させます。設定の方法について詳しくは、別冊の「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

SSID が隠ぺいされている場合（DCP モデル、MFC-J840N/J960DN/J960DWN の場合）

- 無線 LAN アクセスポイントが SSID の隠ぺい（SSID ステルスモード）に設定されている場合は、接続先の SSID は表示されません。その場合は、SSID を入力して設定を行うこともできます。

アドホック通信は、本製品とパソコンとの 1 対 1 通信となるため、無線アクセスポイントとパソコンが既に接続されている場合は、その設定が失われます。アドホック通信の設定を行う前に、必ず、現在のパソコンの無線設定を書き留めておくようにしてください。また、アドホック通信を行う場合は、あらかじめパソコンで SSID を設定しておく必要があります。

1 使用する無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照して、SSID（ネットワーク名）を調べて控えておきます。これは設定手順で必要な情報です。
SSID は、メーカーによっては ESSID、ESS-ID とも呼ばれています。

SSID（ネットワーク名）	

2 使用する無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照して、認証方式、暗号化方式、ネットワークキーを調べて控えておきます。これらは設定手順で必要な情報です。

(1) オープンシステム認証の場合
暗号化の有無とネットワークキー（WEP キー）を調べます。

認証方式	オープンシステム認証
暗号化方式	なし

または

認証方式	オープンシステム認証
暗号化方式	WEP
WEP キー	

(2) 共有キー認証の場合
　ネットワークキー（WEP キー）を調べます。

認証方式	共有キー認証
暗号化方式	WEP
WEP キー	

(3)WPA-PSK の場合
　ネットワークキー（事前共有キー）を調べます。

認証方式	WPA-PSK
暗号化方式	TKIP
事前共有キー	

(4)WPA2-PSK の場合
　ネットワークキー（事前共有キー）を調べます。

認証方式	WPA2-PSK
暗号化方式	AES
事前共有キー	

- ネットワークキーは大文字、小文字が区別されます。正確に確認してください。
- 無線 LAN アクセスポイントに複数の WEP キー（WEP キー 1、WEP キー 2、WEP キー 3、WEP キー 4 など）を設定している場合は、WEP キー 1 を控えておきます。本製品では 1 番目の WEP キーのみ使用できます。
- WEP キーは 5/10/13/26 文字のいずれかです。

【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【無線 LAN】（DCP-J540N/J740N では表示されません。）、【無線接続ウィザード】の順に押します。

本製品が有線 LAN に設定されていた場合、【無線に切替えますか？】（DCP-J540N/J740N は、【無線 LAN をオンにしますか ?】）というメッセージが表示されます。【はい】を押すと、接続できる SSID を検索します。検索が終わると、SSID の一覧が表示されます。

(1) アクセスポイントの SSID：SSID が表示されます（最大 32 桁）。
(2) チャンネル：使用しているチャンネルが 1 ～ 14 で表示されます。
(3) 電波強度：電波の強さが 0 ～ 9 の 10 段階で表示されます。

【無線接続ウィザード】は、画面上の【Wi-Fi】ボタンを押しても選択できます。

【<New SSID>】を押します。

表示されていない場合は、【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせます

5 1 で控えた無線 LAN アクセスポイントの SSID（ネットワーク名）を入力して、【OK】を押します。

文字の入力方法について詳しくは、ユーザーズガイド 基本編「文字の入力方法」をご覧ください。

6 【インフラストラクチャ】を押します。

メモ アドホック通信を使用する場合は【アドホック】を選びます。画面の指示に従って、設定を進めてください。

7 2 で控えた認証方式を選びます。

【オープンシステム認証】を選んだ場合は、8 へ進みます。
【共有キー認証】を選んだ場合は、9 へ進みます。
【WPA/WPA2-PSK】を選んだ場合は、10 へ進みます。

8 2 で控えた暗号化方式を選びます。

【WEP】を押した場合は、9 へ進みます。
【なし】を押した場合は、12 へ進みます。

9 2 で控えた WEP キーを入力して、【OK】を押し、12 へ進みます。

文字の入力方法について詳しくは、ユーザーズガイド 基本編「文字の入力方法」をご覧ください。

10 2 で控えた暗号化方式を選びます。

WPA-PSK の場合は【TKIP】、WPA2-PSK の場合は【AES】を選びます。

11 2 で控えた事前共有キーを入力して、【OK】を押します。

文字の入力方法について詳しくは、ユーザーズガイド 基本編「文字の入力方法」をご覧ください。

12 【設定を適用しますか？】と表示されたら、【はい】を押します。

13 本製品と接続先の機器（無線 LAN アクセスポイントなど）が無線で接続されます。

正常に接続された場合は、本製品の画面に【接続しました】と表示されます。

お使いのネットワーク環境によっては、接続に数分かかることがあります。

14 接続設定が完了すると、自動的に無線 LAN レポートが印刷されます。

無線 LAN レポートの「Connection」の項目を確認してください。
「Connection:OK」と記載されていたら、正常に接続されました。

「Connection:Failed」と記載されていた場合は、接続に失敗しました。画面表示の内容と合わせて無線 LAN レポートを確認してください。

- 【ネットワークキーが違います】と表示された場合は、停止 / 終了 を押してください。入力したネットワークキーが間違っています。2 の情報を確認して 3 から設定し直してください。
- 【接続に失敗しました】と表示された場合は、停止 / 終了 を押してください。無線 LAN アクセスポイントの電源が入っているか確認してください。一時的に本製品と無線 LAN アクセスポイントの距離を 1m 程度に近づけて、もう一度、3 から設定し直してください。
- 無線 LAN レポートのエラーコード（Error:TS-XX）を確認してください。エラーコードの内容については、別冊の「かんたん設置ガイド」の「困ったときは」をご覧になり、問題を解決してから、設定をやり直してください。
- それでも接続できない場合は、⇒「無線 LAN アクセスポイントに接続できない」P.6-2 をご覧ください。

15 MFC モデルは【×】、DCP モデルは【OK】を押します。

設定メニューを完了します。

SSID が隠ぺいされている場合（MFC-J810DN/J810DWN/J860DN/J860DWN の場合）

アドホック通信は、本製品とパソコンとの 1 対 1 通信となるため、無線アクセスポイントとパソコンが既に接続されている場合は、その設定が失われます。アドホック通信の設定を行う前に、必ず、現在のパソコンの無線設定を書き留めておくようにしてください。また、アドホック通信を行う場合は、あらかじめパソコンで SSID を設定しておく必要があります。

使用する無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照して、SSID（ネットワーク名）を調べて控えておきます。これは設定手順で必要な情報です。
SSID は、メーカーによっては ESSID、ESS-ID とも呼ばれています。

SSID（ネットワーク名）	

使用する無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照して、認証方式、暗号化方式、パスワード（ネットワークキー）を調べて控えておきます。これらは設定手順で必要な情報です。

(1) オープンシステム認証の場合
暗号化の有無とパスワード（WEP キー）を調べます。

認証方式	オープンシステム認証
暗号化方式	なし

または

認証方式	オープンシステム認証
暗号化方式	WEP
WEP キー	

(2) 共有キー認証の場合
パスワード（WEP キー）を調べます。

認証方式	共有キー認証
暗号化方式	WEP
WEP キー	

(3)WPA-PSK の場合
パスワード（事前共有キー）を調べます。

認証方式	WPA-PSK
暗号化方式	TKIP
事前共有キー	

(4)WPA2-PSK の場合
パスワード（事前共有キー）を調べます。

認証方式	WPA2-PSK
暗号化方式	AES
事前共有キー	

- パスワード（ネットワークキー）は大文字、小文字が区別されます。正確に確認してください。
- 無線 LAN アクセスポイントに複数の WEP キー（WEP キー 1、WEP キー 2、WEP キー 3、WEP キー 4 など）を設定している場合は、WEP キー 1 を控えておきます。本製品では 1 番目の WEP キーのみ使用できます。
- WEP キーは 5/10/13/26 文字のいずれかです。

通信ボックスの電源が入っていることをご確認ください。

【メニュー】を押し、【ネットワーク】、【無線接続ウィザード】の順に押します。

（MFC-J860DN/J860DWN のみ）
【無線接続ウィザード】は、画面上の【Wi-Fi】ボタンを押しても選択できます。

複合機本体と通信ボックスの接続状態を自動的に確認します。

接続が確認された場合は、右のような画面が表示されます。
(1) アクセスポイントの SSID：SSID が表示されます（最大 32 桁）。
(2) チャンネル：使用しているチャンネルが 1 ～ 14 で表示されます。
(3) 電波強度：電波の強さが 0 ～ 9 の 10 段階で表示されます。

接続が確認できない場合は、【通信ボックスと接続できません　待機画面にある［接続確認］を押して接続を確認してください /OK】と表示されます。【OK】を押した後、停止 / 終了 を押して待機画面へ戻り、【接続確認】を押してください。
【通信ボックスと接続できません　通信ボックスの電源を入れてください　もしくは、本体の「通信ボックス接続リセット」を行ってください /OK】と表示されたら【OK】を押し、再度、通信ボックスの電源が入っているかをご確認ください。

- 通信ボックスの電源が入っていなかった場合
  AC アダプターの電源プラグを確実にコンセントに差し込んで、無線 LAN 設定を最初からやり直してください。
- 通信ボックスの電源が入っていた場合
  「通信ボックス接続リセット」を行い、接続方法をお買い上げ時の状態に戻してから、無線 LAN 設定を最初からやり直してください。
  ⇒「複合機本体と通信ボックスの接続がうまくいかないときは（MFC-J810DN/J810DWN/J860DN/J860DWN のみ）」P.6-11

【<New SSID>】を押します。

表示されていない場合は、【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせます

7 1 で控えた無線 LAN アクセスポイントの SSID（ネットワーク名）を入力して、【OK】を押します。

文字の入力方法について詳しくは、ユーザーズガイド 基本編「文字の入力方法」をご覧ください。

8 【インフラストラクチャ】を押します。

メモ　アドホック通信を使用する場合は【アドホック】を選びます。画面の指示に従って、設定を進めてください。

9 2 で控えた認証方式を選びます。

【オープンシステム認証】を選んだ場合は、10 へ進みます。
【共有キー認証】を選んだ場合は、11 へ進みます。
【WPA/WPA2-PSK】を選んだ場合は、12 へ進みます。

10 2 で控えた暗号化方式を選びます。

【WEP】を押した場合は、11 へ進みます。
【なし】を押した場合は、14 へ進みます。

11 2 で控えた WEP キーを入力して、【OK】を押し、14 へ進みます。

文字の入力方法について詳しくは、ユーザーズガイド 基本編「文字の入力方法」をご覧ください。

12 2 で控えた暗号化方式を選びます。

WPA-PSK の場合は【TKIP】、WPA2-PSK の場合は【AES】を選びます。

13 2 で控えた事前共有キーを入力して、【OK】を押します。

文字の入力方法について詳しくは、ユーザーズガイド 基本編「文字の入力方法」をご覧ください。

14 【設定を適用しますか？】と表示されたら、【はい】を押します。

15 本製品と接続先の機器（無線 LAN アクセスポイントなど）が無線で接続されます。

正常に接続された場合は、本製品の画面に【接続しました】と表示されます。

お使いのネットワーク環境によっては、接続に数分かかることがあります。

16 接続設定が完了すると、自動的に無線 LAN レポートが印刷されます。

無線 LAN レポートの「Connection」の項目を確認してください。
「Connection:OK」と記載されていたら、正常に接続されました。

「Connection:Failed」と記載されていた場合は、接続に失敗しました。画面表示の内容と合わせて無線 LAN レポートを確認してください。

- 【ネットワークキーが違います】と表示された場合は、停止 / 終了 を押してください。入力したパスワードが間違っています。2 の情報を確認して 3 から設定し直してください。
- 【接続に失敗しました】と表示された場合は、停止 / 終了 を押してください。無線 LAN アクセスポイントの電源が入っているか確認してください。一時的に本製品と無線 LAN アクセスポイントの距離を 1m 程度に近づけて、もう一度、3 から設定し直してください。
- 無線 LAN レポートのエラーコード（Error:TS-XX）を確認してください。エラーコードの内容については、別冊の「かんたん設置ガイド」の「困ったときは」をご覧になり、問題を解決してから、設定をやり直してください。
- それでも接続できない場合は、⇒「無線 LAN アクセスポイントに接続できない」P.6-2 をご覧ください。

17 【×】を押します。

設定メニューを完了します。

第 4 章
操作パネルで設定する

第 4 章 操作パネルで設定する

パソコンから操作しなくても、本製品の操作パネルやタッチパネルのボタンを使用して、本製品をネットワークで使用するための設定ができます。液晶ディスプレーやタッチパネルの画面には、現在の設定内容や選べる項目名が表示されます。【ネットワーク】メニューから項目を選択して設定します。
⇒「ネットワークメニュー一覧」P.4-12
操作パネルやタッチパネルの操作方法について詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド 基本編「各部の名称とはたらき」
本製品に付属の BRAdmin Light、または、リモートセットアップ機能を使用してネットワークの設定を変更することもできます。
⇒「ネットワークリモートセットアップ機能を使う （MFC モデルのみ）」P.5-8
本書では、MFC-J810DN/J810DWN/J860DN/J860DWN に付属している電話機を「子機」、その置き台を「通信ボックス」と記載しています。

有線 LAN/ 無線 LAN の設定

TCP/IP の設定

TCP/IP を使用して印刷するには、本製品に IP アドレスを設定します。
パソコンと同じネットワーク上に本製品が接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。ルーターの先に本製品が接続されている場合は、ルーターのアドレス（ゲートウェイ）も設定します。

IP 取得方法

IP アドレスの取得方法を設定します。

RARP、BOOTP、DHCP または APIPA 機能を使用している場合は、TCP/IP の各項目は自動的に設定されます。
それらの機能を使用しないで手動で IP アドレスを設定する場合は、自動的に IP アドレスを取得しないように【IP 取得方法】（通信ボックスの場合は、【1.IP　シュトク　ホウホウ】）を【Static】に設定してください。

IP アドレス

本製品の現在の IP アドレスを確認できます。【IP 取得方法】で【Static】以外の取得方法が選ばれている場合は、RARP、BOOTP または DHCP のプロトコルを使用して IP アドレスを自動的に取得します。
IP アドレスを変更すると、【IP 取得方法】（通信ボックスの場合は、【1.IP　シュトク　ホウホウ】）は自動的に【Static】に変わります。

サブネットマスク

本製品の現在のサブネットマスクを確認できます。RARP、BOOTP、DHCP または APIPA 機能を使用していない場合は、サブネットマスクを手動で入力してください。設定するサブネットマスクについてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

ゲートウェイ

本製品の現在のゲートウェイ（ルーター）のアドレスを確認できます。RARP、BOOTP、または DHCP を使用していない場合はアドレスを手動で指定します。ゲートウェイ（ルーター）を使用しない場合は、お買い上げ時の設定（初期値）【000.000.000.000】にしておいてください。アドレスがわからない場合はネットワーク管理者へお問い合わせください。

ノード名

ノード名をネットワークで使用するために登録します（WINS サーバーに登録されている NetBIOS 名になります）。お買い上げ時の設定（初期値）は、【BRNxxxxxxxxxxxx】（有線 LAN）または【BRWxxxxxxxxxxxx】（無線 LAN）（xxxxxxxxxxxx は MAC アドレスを示す 12 桁の文字）です。ノード名を変更する場合は、15 文字以内で設定してください。

WINS 設定

WINS（Windows® Internet Name Service）サーバーアドレスの取得方法を設定します。

- Auto
  DHCP サーバーからプライマリー、セカンダリの WINS サーバーアドレスを自動的に取得します。【IP 取得方法】が【Auto】または【DHCP】に設定されている必要があります。

- Static
  手動で WINS サーバーアドレスを設定します。

通信ボックスでは設定できません。

WINS サーバ

WINS（Windows® Internet Name Service）サーバーのアドレスを設定します。

- プライマリ
  この項目でプライマリー WINS サーバーの IP アドレスを登録します。ゼロ以外の数値が設定されている場合、WINS サーバーにノード名を登録します。

- セカンダリ
  この項目でセカンダリ WINS サーバーの IP アドレスを登録します。セカンダリ WINS サーバーはプライマリー WINS サーバーの機能の一部を補完し、プライマリーサーバーが見つからないときに機能します。ゼロ以外の数値が設定されている場合、WINS サーバーにノード名を登録します。
  ネットワーク内にセカンダリ WINS サーバーが存在しない場合は入力しなくても構いません。

通信ボックスでは設定できません。

DNS サーバ
DNS（ドメインネームシステム）サーバーのアドレスを設定します。

- プライマリ
  プライマリー DNS サーバーのアドレスを指定します。

- セカンダリ
  セカンダリ DNS サーバーのアドレスを指定します。セカンダリ DNS サーバーはプライマリー DNS サーバーの機能の一部を補完し、プライマリーサーバーが見つからない場合に機能します。
  ネットワークの負荷が大きい場合に設定してください。

通信ボックスでは設定できません。

APIPA（MFC-J840N/J960DN/J960DWN および DCP モデルのみ）
IP アドレス配布サーバー（RARP、BOOTP、DHCP など）を利用していない場合でも、【APIPA】（AutoIP）を【オン】に設定しておくと、本製品に IP アドレスを自動的に割り当てます。
このとき、IP アドレスは 169.254.1.0 ～ 169.254.254.255 の範囲で割り当てられます。この機能を使用しないときは【オフ】に設定してください。
割り当てられた IP アドレスがお使いのネットワーク環境の IP アドレスの設定規則に適さない場合は、BRAdmin Light や操作パネルから IP アドレスを変更してください。
⇒「TCP/IP の設定」P.4-2
⇒「IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定する」P.2-3

イーサネット(有線 LAN のみ)(MFC-J840N/J960DN/J960DWN および DCP-J940N のみ)

リンクモードを設定します。

Auto
100BaseTX（全二重 / 半二重）、10BaseT（全二重 / 半二重）モードを自動的に選びます。

100B-FD/100B-HD/10B-FD/10B-HD
それぞれのリンクモードに固定されます。
100B-FD：100BaseTX Full Duplex（全二重）
100B-HD：100BaseTX Half Duplex（半二重）
10B-FD：10BaseT Full Duplex（全二重）
10B-HD：10BaseT Half Duplex（半二重）

無線接続ウィザード（無線 LAN のみ）

本製品の操作パネルからウィザード形式で無線 LAN を設定することができます。設定方法について詳しくは、別冊の「かんたん設置ガイド」または、⇒「無線 LAN アクセスポイントの簡単設定（WPS/AOSS™）を使用する（インフラストラクチャ通信のみ）」P.3-6 をご覧ください。

WPS/AOSS™（無線 LAN のみ）

WPS（Wi-Fi Protected Setup）または AOSS™（AirStation One-Touch Secure System：無線 LAN 簡単設定システム）対応の無線 LAN アクセスポイントをお持ちの場合は、アクセスポイントのボタンを押すだけで、本製品の無線 LAN 設定が行えます。

WPS（PIN コード）（無線 LAN のみ）

WPS 対応の無線 LAN アクセスポイントをお持ちの場合、PIN（Personal Identification Number）コードを入力することで無線 LAN とセキュリティーの設定を行うことができます。

無線状態（無線 LAN のみ）

無線 LAN をお使いの場合、ネットワーク設定や状況を確認できます。

接続状態

無線 LAN の接続状態を表示します。

電波状態

無線 LAN の電波状態を表示します。

SSID

無線 LAN の SSID（ネットワーク名）を表示します。

通信モード

無線 LAN の通信モードを表示します。

MAC アドレス

本製品の現在の MAC アドレスを確認できます。MAC アドレスは、本製品のネットワークインターフェイスに割り当てられたアドレス番号です。MAC アドレスは変更できません。

有線 LAN/ 無線 LAN を切り替える（MFC-J840N/J960DN/J960DWN および DCP-J940N のみ）

ネットワークの接続方法が決定したら、本製品でも接続方法を設定します。設定を切り替えた場合は、画面の説明に従って、本製品を再起動してください。

- 本製品では、無線 LAN と有線 LAN を同時に使用することはできません。同時に接続していても、【有線 / 無線切替え】で設定されている接続が有効になります。
- 【有線 LAN】に設定した状態でも、無線 LAN 接続設定の操作（⇒「無線 LAN を設定する」P.3-6）を行った場合は、【有線 / 無線切替え】は【無線 LAN】に変更されます。

ネットワーク設定リセット

現在のネットワーク設定をすべて初期化して、お買い上げ時の設定に戻します。

- この設定では、IP アドレスやメールアドレスなど、すでに設定しているネットワークのすべての情報を初期化します。
- プリントサーバーの設定も BRAdmin アプリケーションで初期化することができます。
  ⇒「BRAdmin Light で設定する」P.2-2
  ⇒「その他の管理ユーティリティーで設定する」P.2-5

DCP モデル、MFC-J840N/J960DN/J960DWN の場合

【メニュー】を押し、【ネットワーク】を押します。

【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【ネットワーク設定リセット】を押します。

【ネットワーク設定をリセットしますか？/ はい / いいえ】と表示されます。

【メニュー】を押し、【初期設定】、【設定リセット】、【ネットワーク設定リセット】の順に選んでも設定できます。

【はい】を押します。

【再起動しますか？実行する場合は［はい］を 2 秒間押してください　キャンセルする場合は［いいえ］を押してください　/ はい / いいえ】と表示されます。

【はい】を、2 秒間押します。

数秒後に本製品が再起動します。

MFC-J810DN/J810DWN/J860DN/J860DWN の場合

先に通信ボックスでリセット操作をしたあと、続けて複合機本体のリセット操作を行います。

複合機本体と通信ボックスの接続がうまくいかないときは、⇒「複合機本体と通信ボックスの接続がうまくいかないときは（MFC-J810DN/J810DWN/J860DN/J860DWN のみ）」P.6-11 を行ってください。

通信ボックスの［機能/確定］を押し、［▼］/［▲］で【3. ネットワーク】を選びます。

［機能/確定］を押し、［▼］/［▲］で【0. ネットワークセッテイリセット】を選びます。

［機能/確定］を押します。

【ネットワークセッテイリセット ?】と【▼　リセット　▲　キャンセル】が交互に表示されます。

［機能/確定］を押し、［▼］/［▲］で【0. ショキ　セッテイ】、【7. セッテイリセット】、【2. ネットワークセッテイリセット】の順に選んでも設定できます。

［▼］（リセット）を押します。

【サイキドウ　シマスカ ?】と【▼　スル　▲　シナイ】が交互に表示されます。

［▼］（スル）を押します。

数秒後に通信ボックスが再起動します。
再起動が完了したら、引き続き、複合機本体のリセットを行います。

複合機本体画面の【メニュー】を押し、【ネットワーク】を押します。

【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【ネットワーク設定リセット】を押します。

【最初に 通信ボックスの［機能 / 確定］を押して ショキセッテイ　> セッテイリセット　> ネットワークセッテイリセット　を実行してください　はい 実行しました リセットをやめます】と表示されます。

【メニュー】を押し、【初期設定】、【設定リセット】、【ネットワーク設定リセット】の順に選んでも設定できます。

【はい 実行しました】を押します。

【再起動しますか ? 実行する場合は［はい］を 2 秒間押してください　キャンセルする場合は［いいえ］を押してください　/ はい / いいえ】と表示されます。

【はい】を、2 秒間押します。

数秒後に本製品が再起動します。

ネットワーク設定リストの出力

本製品の現在動作しているネットワーク接続（有線 LAN または無線 LAN）に関する設定内容（MAC アドレス、ノード名、IP アドレスなど）を印刷して確認できます。

ネットワーク設定リストは、モノクロでしか印刷できません。

【メニュー】を押し、【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【レポート印刷】を押します。

【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【ネットワーク設定リスト】を押します。

モノクロスタート を押します。

通信ボックスの場合（MFC-J810DN/J810DWN/J860DN/J860DWN のみ）

機能/確定 を押し、▼ / ▲ で【4. レポート　インサツ】を選びます。

機能/確定 を押し、▼ / ▲ で【3. ネットワークセッテイリスト】を選びます。

機能/確定 を押します。

【カクテイボタンヲ　オス】と表示されます。

機能/確定 を押します。

ネットワーク設定リストが複合機本体から出力されます。

無線 LAN レポートの出力

現在の本製品の無線接続状況を確認できます。
無線 LAN 接続が正しく設定できていない場合は、その対処法についても印刷されますので、通信がうまくできないときに出力して確認してください。レポートの内容について詳しくは、別冊の「かんたん設置ガイド」の「困ったときは」をご覧ください。

- 下記の手順を行っても無線 LAN レポートが印刷されない場合は、しばらく待ってから、やり直してください。
- 無線 LAN 接続設定をおこなった場合は、設定完了後に自動的に無線 LAN レポートが出力されます。無線 LAN 接続が正しく設定できているかをご確認ください。
  無線 LAN レポートの内容について詳しくは、別冊の「かんたん設置ガイド」をご覧ください。
- 無線 LAN レポートは、モノクロでしか印刷できません。

【メニュー】を押し、【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【レポート印刷】を押します。

【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【無線 LAN レポート】を押します。

モノクロ スタート を押します。

ネットワークメニュー一覧

機能	項目			設定（太字：初期設定値）
ネットワーク	有線 LAN*1	TCP/IP	IP 取得方法	**Auto** ／ Static ／ RARP ／ BOOTP ／ DHCP
			IP アドレス	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
			サブネット マスク	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
			ゲートウェイ	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
			ノード名	BRNxxxxxxxxxxxx（x は MAC アドレスを示す 12 桁の文字）
			WINS 設定	**Auto** ／ Static
			WINS サーバ	プライマリ／セカンダリ
			DNS サーバ	プライマリ／セカンダリ
			APIPA	**オン**／オフ
		イーサネット		**Auto** ／ 100B-FD ／ 100B-HD ／ 10B-FD ／ 10B-HD
		MAC アドレス		－
	無線 LAN*2	TCP/IP	IP 取得方法*3	Auto ／ Static ／ RARP ／ BOOTP ／ DHCP
			IP アドレス	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
			サブネット マスク	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
			ゲートウェイ	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
			ノード名	BRWxxxxxxxxxxxx（x は MAC アドレスを示す 12 桁の文字）
			WINS 設定	**Auto** ／ Static
			WINS サーバ	プライマリ／セカンダリ
			DNS サーバ	プライマリ／セカンダリ
			APIPA*4	**オン**／オフ
		無線接続ウィザード		－
		WPS/AOSS		－
		WPS（PIN コード）		－
		無線状態	接続状態	アクティブ（11b）/ アクティブ（11g）/ アクティブ（11n）/ 接続に失敗しました /AOSS アクティブ
			電波状態	電波：強い / 普通 / 弱い / なし（無線 LAN 停止中*5）
			SSID	（32 文字まで表示）
			通信モード	アドホック / インフラストラクチャ / なし（無線 LAN 停止中*5）
		MAC アドレス		－

*1 MFC-J810DN/J810DWN/J860DN/J860DWN および DCP-J540N/J740N は有線 LAN メニューがありません。
*2 MFC-J810DN/J810DWN/J860DN/J860DWN および DCP-J540N/J740N では表示されません。
*3 初期設定値はモデルによって異なります。
*4 MFC-J810DN/J810DWN/J860DN/J860DWN では表示されません。
*5 DCP-J540N/J740N のみ

<table>
<tr><th>機能</th><th colspan="3">項目</th><th>設定（太字：初期設定値）</th></tr>
<tr><td rowspan="8">ネットワーク</td><td rowspan="5">Web 接続設定 *1</td><td rowspan="5">プロキシ設定</td><td>プロキシ経由接続</td><td>オン / オフ</td></tr>
<tr><td>アドレス</td><td>－</td></tr>
<tr><td>ポート</td><td>－</td></tr>
<tr><td>ユーザ名</td><td>－</td></tr>
<tr><td>パスワード</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="3">有線 / 無線切替え [*2]</td><td>有線 LAN ／無線 LAN</td></tr>
<tr><td colspan="3">無線 LAN 有効 [*3]</td><td>オン / オフ</td></tr>
<tr><td colspan="3">ネットワーク設定リセット</td><td>－</td></tr>
</table>

[*1] MFC-J840N/J960DN/J960DWN および DCP-J940N のみ
Web 接続設定について詳しくは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター http://solutions.brother.co.jp/）から「クラウド接続ガイド」をダウンロードしてご覧ください。
MFC-J860DN/J860DWN のみ
Web 接続設定について詳しくは、ユーザーズガイド　基本編「プロキシを設定する」をご覧ください。
[*2] MFC-J840N/J960DN/J960DWN および DCP-J940N のみ
[*3] DCP-J540N/J740N のみ

第 5 章
ネットワーク機能を使う

第 5 章 ネットワーク機能を使う

ネットワークスキャン機能を使う

ネットワークスキャン機能とは

本製品でスキャンしたデータを、ネットワーク上のパソコンへ送ったり保存したりできる機能です。

あらかじめ本製品の TCP/IP の設定が必要です。

ネットワークスキャンの設定

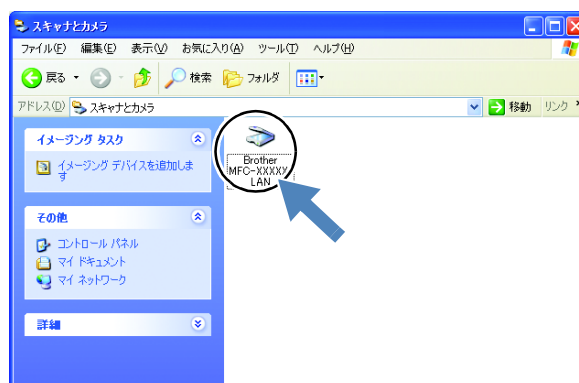
ネットワークスキャンを使用するときは、ネットワーク上の 1 台の本製品と最大 25 台のパソコンを接続することができます。例えば、30 台のパソコンが同時に本製品に接続しようとした場合は、5 台のパソコンは本製品の画面に表示されません。

Windows® の場合

本製品のスキャンボタンを押してネットワークスキャン機能を使う場合は、スキャンしたデータを保存するパソコンの名称（コンピューター名）をあらかじめ登録する必要があります。初期設定では、スキャンしたデータは別冊の「かんたん設置ガイド」に記載されているインストール作業を行ったパソコンに保存されます。このまま使用する場合は設定する必要はありません。
IP アドレスを変更、または登録したパソコンの名前を変える場合には、次の手順で設定してください。
ネットワークスキャン機能の詳細な説明については、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」－「スキャナーとして使う前に」

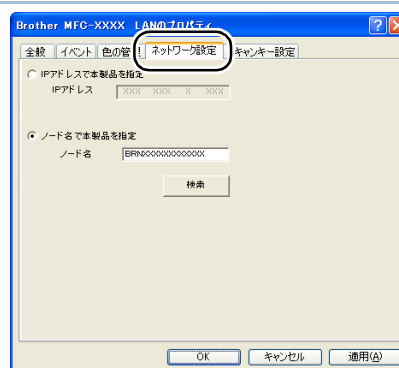
コントロールパネルの［スキャナとカメラ］を表示します。

- Windows® 7 の場合
  ［スタート］メニューから［すべてのプログラム］－［Brother］－［(モデル名)］－［スキャナー設定］－［スキャナーとカメラ］をクリックします。
- Windows Vista® の場合
  ［スタート］メニューから［コントロール パネル］－［ハードウェアとサウンド］－［スキャナとカメラ］をクリックします。
- Windows® XP の場合
  ［スタート］メニューから［コントロール パネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［スキャナとカメラ］をクリックします。

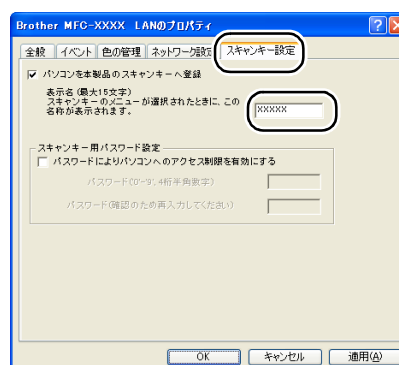
接続している本製品のモデル名をクリックして選びます。

［プロパティ］ダイアログボックスを表示します。

- Windows® 7、Windows Vista® の場合
  ［プロパティ］をクリックします。
- Windows® XP の場合
  右クリックして表示されるメニューから［プロパティ］を選びます。

［ネットワーク設定］タブをクリックし、項目を設定します。

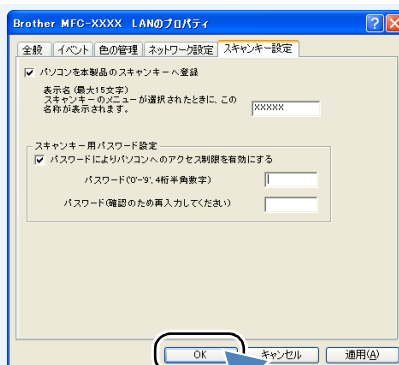
- IP アドレスを変更する場合は、新しい IP アドレスを入力します。
- 本製品の名称を変更する場合は、［ノード名］に新しい名称を入力します。
- 使用できる機器の一覧を検索してから設定する場合は、［検索］をクリックして該当する製品名を探すこともできます。

［スキャンキー設定］タブをクリックし、データを保存するパソコンの名称を入力します。

初期設定はお使いのパソコンの名称が表示されています。

操作パネルのスキャンボタンを操作するときに、本製品の画面に表示されるこのパソコンの名称です。パソコンの名称は、マイ コンピュータのプロパティ画面で確認できます。

［OK］をクリックします。

設定が完了しました。

スキャンした画像データの保存に制限をつけたいときは

スキャンした画像データをパソコンに保存するとき、パスワードを入力しないと保存できないように設定できます。
［スキャンキー用パスワード設定］で 4 桁の数字をパスワードとして登録します。

Macintosh の場合

本製品のスキャンボタンを押してネットワークスキャン機能を使う場合は、あらかじめ受信する Macintosh で「スキャンボタンへの登録」設定が必要です。次の手順で設定してください。
ネットワークスキャン機能の詳細な説明については、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh 編」－「スキャナーとして使う前に」

［Macintosh HD］－［ライブラリ］－［Printers］－［Brother］－［Utilities］－［DeviceSelector］の［デバイスセレクター］をダブルクリックする

［デバイスセレクター］画面が表示されます。

［ネットワーク］を選ぶ

［パソコンを本製品のスキャンキーへ登録］をチェックして、［表示名］に Macintosh の名前を入力する

必要に応じて、項目を設定する

- 本製品が設定されていない場合または異なる製品を設定したい場合、［検索］をクリックして該当する製品名（mDNS サービス名）を選択します。
- 製品の IP アドレスを手動で入力して設定することもできます。

5 ［OK］をクリックします。

設定が変更されます。

メモ

スキャンした画像データの保存に制限をつけたいときは

スキャンした画像データを Macintosh に保存するとき、パスワードを入力しないと保存できないように設定できます。
［パスワードによりパソコンへのアクセス制限を有効にする］をチェックして、4 桁の数字をパスワードとして登録します。

ネットワーク PC-FAX 送信機能を使う（MFC モデルのみ）

ネットワーク PC-FAX 送信機能とは

PC-FAX 機能を利用すると、パソコン上のアプリケーションで作成したデータを、ネットワーク上の本製品からファクスとして送信できます。Windows® の場合は、送付書を添付して送ることもできます。
PC-FAX を使うときは、あらかじめ PC-FAX アドレス帳に相手先を登録しておくと、ファクス送信先を簡単に設定できます。Windows® の場合は、個人情報を登録しておくと、ファクスや送付書に自分の名前や電話番号を自動的に入れることができます。

ネットワーク PC-FAX 送信機能を使う

Windows® の場合は、作成したデータのアプリケーションメニューから［印刷］を選び、プリンターを［Brother PC-FAX］に設定すると、PC-FAX ウィンドウが表示されます。
Macintosh の場合は、作成したデータのアプリケーションメニューから［プリント］を選び、プリントダイアログで［ファクス送信］を選ぶと PC-FAX 送信設定ウィンドウが表示されます。
このウィンドウで送信先などを設定します。

ファクスの送信手順やアドレス帳の使い方などについては、下記をご覧ください。
Windows® の場合⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「PC-FAX を使う前に」
Macintosh の場合⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh からファクスを送る」

ネットワーク PC-FAX 送信を行うポートを変更する（Windows® のみ）

別冊の「かんたん設置ガイド」に記載されているインストール作業を行ったパソコンで送信する場合は、本製品のポートが選択されています。このまま使用する場合は設定する必要はありません。
使用するポートを変更したい場合は、次の手順で設定してください。

1 コントロールパネルのプリンターフォルダーを表示します。
- Windows® 7 の場合
  ［スタート］メニューから［デバイスとプリンター］－［プリンターと FAX］の順にクリックします。
- Windows Vista® の場合
  ［スタート］メニューから［コントロール パネル］－［プリンタ］の順にクリックします。
- Windows® XP の場合
  ［スタート］メニューから［コントロール パネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［プリンタと FAX］をクリックします。

2 ［プロパティ］ダイアログボックスを表示します。
- Windows® 7 の場合
  ［Brother MFC-XXXX Printer］を選択し、右クリックして表示されるメニューから［プリンターのプロパティ］、［Brother PC-FAX v.X］の順に選びます。
- Windows Vista®、Windows® XP の場合
  ［Brother PC-FAX］を選択し、右クリックして表示されるメニューから［プロパティ］を選びます。

「Brother PC-FAX」は、ドライバーインストール時に同時にインストールされます。
ドライバーのインストール方法については、別冊の「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

［ポート］タブをクリックし、使用するポートを選びます。

複数台の MFC をご使用の場合は、ネットワーク PC-FAX に使用するポートをここで指定してください。わからない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

［OK］をクリックします。

設定が完了しました。

ネットワークリモートセットアップ機能を使う（MFC モデルのみ）

ネットワークリモートセットアップ機能とは

本製品の設定をネットワークに接続しているパソコンから変更したり、本製品の電話帳を編集したりできます。

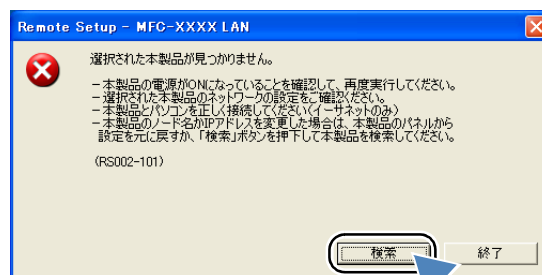
リモートセットアップを起動する

（Windows® の場合）
［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［モデル名］－［リモートセットアップ］の順に選びます。
（Macintosh の場合）
［Macintosh HD］－［ライブラリ］－［Printers］－［Brother］－［Utilities］から［RemoteSetup］アイコンをダブルクリックします。

接続している本製品から設定内容をダウンロードします。ダウンロードが終わると、リモートセットアップのダイアログボックスが表示されます。
詳細な説明については、下記をご覧ください。
Windows® の場合⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」－「リモートセットアップを利用する」
Macintosh の場合⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh 編」－「リモートセットアップを利用する」

本製品との接続に失敗した場合

Windows® の場合

エラーメッセージの［検索］をクリックします。

表示される機器の一覧から、設定を変更する機器を選び、［OK］をクリックします。

選択した機器への接続を開始します。
再度機器を検索する場合は、［検索］をクリックしてください。

表示される一覧に、接続先の機器が表示されない場合
［手動設定］をクリックして表示されるダイアログボックスで、接続先の IP アドレスまたはノード名を入力して設定してください。

Macintosh の場合

［Macintosh HD］－［ライブラリ］－［Printers］－［Brother］－［Utilities］－［DeviceSelector］の［デバイスセレクター］をダブルクリックします。

［ネットワーク］を選びます。

［検索］をクリックします。

表示される機器の一覧から、接続する機器を選び、［OK］をクリックします。

選択した機器への接続を開始します。
再度機器を検索する場合は、［検索］をクリックしてください。

第 6 章

困ったときは（トラブル対処方法）

第 6 章 困ったときは（トラブル対処方法）

この章では、ネットワークに関してトラブルが発生したときの対応方法について説明しています。
該当する問題のページをご覧ください。

無線 LAN アクセスポイントに接続できない

1）次の項目を確認してください。

●無線 LAN アクセスポイントと、本製品が離れ過ぎていませんか？間に障害物がありませんか？

本製品を見通しの良い場所へ移動させたり、できるだけ無線 **LAN** アクセスポイントに近づけたりしてください。また、無線 **LAN** 設定時は **1m** 程度に近づけてお試しください。

●近くに無線 LAN に影響を及ぼすものはありませんか？

本製品の近くに、ほかの無線 **LAN** アクセスポイントやパソコン、短距離無線通信対応機器、電子レンジ、デジタルコードレス電話がある場合は離してください。

2）次の場合は、お使いのブロードバンドルーターなどのメーカーにお問い合わせください。

●無線 LAN アクセスポイントが正常に動作していますか？

無線 **LAN** を内蔵したパソコンでインターネットに接続できるかお試しください。

●アクセス制限を設定していませんか？

無線 **LAN** アクセスポイントの **MAC** アドレスフィルタリング機能を使用している場合は、本製品の **MAC** アドレスを無線 **LAN** アクセスポイントに登録して、通信を許可してください。

本製品の MAC アドレス（イーサネットアドレス）は、「MAC アドレス」P.4-5 でご確認ください。
有線 LAN と無線 LAN では、MAC アドレスが異なりますので注意してください。

● SSID（ネットワーク名）を表示させない設定にしていませんか？

無線 **LAN** アクセスポイントが **SSID** の隠ぺい（**SSID** ステルスモード）に設定されているときは、本製品から自動的に見つけることはできません。**SSID** を操作パネルまたはパソコンの画面から本製品に入力してください。

⇒「SSID が隠ぺいされている場合 （DCP モデル、MFC-J840N/J960DN/J960DWN の場合）」P.3-10

⇒「SSID が隠ぺいされている場合（MFC-J810DN/J810DWN/J860DN/J860DWN の場合）」P.3-14

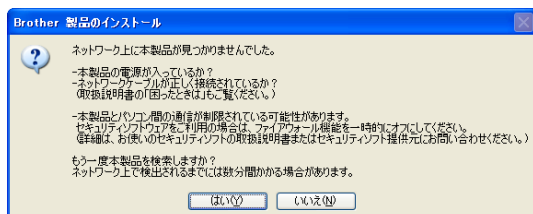
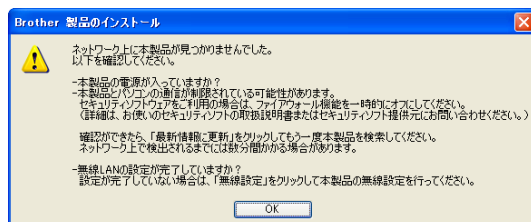
●ネットワークキーの設定は正しいですか？

大文字、小文字は区別されます。認証されないときは、ネットワークキーが間違っていないか確認してください。

●近くで別の無線機器を使用していませんか？

近隣などですでに別の無線機器が導入されているときは、電波干渉を避けるために無線 **LAN** アクセスポイントのチャンネル番号をできるだけ離して（推奨：チャンネル番号 **5** 以上）設定してください。

上記 1） 2）を行っても接続できない場合は、「ネットワークプリンター診断修復ツール」を使って確認してください。P.6-7

インストール時、ネットワーク上に本製品が見つからない

有線 LAN 接続の場合

無線 LAN 接続の場合

次の項目を確認してください。

お使いのパソコンから本製品までの接続機器が正常に稼働しているか確認してください。

⇒「ネットワーク機器に問題がないか調べるには」P.6-5

セキュリティーソフトによってブロックされていないか確認してください。

⇒「セキュリティーソフトウェアについて」P.6-6

設定しているネットワーク情報（IP アドレス）に誤りがないか確認してください。

⇒「ネットワークの設定がうまくいかないときは」P.6-7

印刷 / スキャンできない

次の手順を確認してください。

お使いのパソコンから本製品までの接続ケーブルや接続機器が正常に動作しているか確認してください。

⇒「ネットワーク機器に問題がないか調べるには」P.6-5

セキュリティーソフトによってブロックされていないか確認してください。

⇒「セキュリティーソフトウェアについて」P.6-6

設定しているネットワーク情報（IP アドレス）に誤りがないかを確認します。

⇒「ネットワークの設定がうまくいかないときは」P.6-7

古い印刷ジョブを削除してください。

印刷に失敗した古いデータが残っていると印刷できない場合があります。

Windows® の場合は、プリンターフォルダー内のプリンターアイコンを開き、［プリンタ］から［すべてのドキュメントの取り消し］を選択してください。

プリンターフォルダーの表示方法
＜ Windows® 7 ＞
［スタート］－［デバイスとプリンター］－［プリンターと FAX］の順にクリックします。

＜ Windows Vista® ＞
［スタート］－［コントロール パネル］－［ハードウェアとサウンド］－［プリンタ］の順にクリックします。

＜ Windows® XP ＞
［スタート］－［コントロール パネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［プリンタと FAX］の順にクリックします。

再度、印刷 / スキャンを試してください。

それでも印刷 / スキャンなどができない場合は、ドライバーをアンインストールして、別冊の「かんたん設置ガイド」に従って、再度インストールすることをお勧めします。

ドライバーのアンインストール方法については、別冊の「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

ネットワーク機器に問題がないか調べるには

お使いのパソコンから本製品までの接続機器が正常に稼動しているか次の項目を確認してください。

●本製品の電源は入っていますか？

電源を入れて、印刷できる状態であることを確認します。エラーメッセージが表示されている場合は、下記をご覧になり、エラーを解除してください。

⇒ユーザーズガイド 基本編「画面にメッセージが表示されたときは」

●パソコンと無線 LAN アクセスポイントが、ネットワーク接続できていますか？

お使いのパソコンで、インターネット閲覧や **E** メールなどの機能が正常に動作しているか確認してください。

●接続方法を変更していませんか？

接続方法を変更したときは、使用する接続方法に切り替えてください。

⇒「有線 **LAN/** 無線 **LAN** を切り替える （**MFC-J840N/J960DN/J960DWN** および **DCP-J940N** のみ）」P.4-6

●有線 LAN の場合（MFC-J840N/J960DN/J960DWN および DCP-J940N のみ）
接続したルーターやハブのランプは点灯 / 点滅していますか？

一般的に、ルーター **/** ハブには接続状態を示すリンクランプがあり、点灯 **/** 点滅で接続状態を確認できます。本製品を接続している **LAN** ポートのリンクランプを確認します。

- ランプが点灯 / 点滅している場合：接続には問題ありません。
- ランプが点灯 / 点滅していない場合：接続に問題があるようです。

次の項目を確認してください。

- **ルーターまたはハブなどの LAN ポートにパソコンと本製品が正しく接続されていますか？**

  接続されていない場合は正しく接続しなおしてください。

  接続にはストレートケーブルを使用してください。ほかのケーブルを使用している場合は、ストレートケーブルで接続しなおしてください。

- **ほかの LAN ポートに接続しなおしたり、ほかの LAN ケーブルに差し換えたりしてお試しください。**

  それでも点灯 **/** 点滅しない場合は、ルーターまたは、ハブのメーカーにご相談ください。

●無線 LAN の場合
「無線 LAN アクセスポイントに接続できない」の項目で当てはまるものはありませんか？

⇒「無線 **LAN** アクセスポイントに接続できない」P.6-2

セキュリティーソフトウェアについて

●インストール

市販のセキュリティーソフトでパーソナルファイアウォール機能が有効に設定されていると、インストール中にセキュリティーの許可を促す画面が表示されることがあります。この場合は許可をしてください。

セキュリティー許可を促す画面で、拒否をするとインストールの完了ができないことがあります。この場合は、セキュリティーソフトを再度インストールするか、セキュリティーソフト提供元にお問い合わせください。

●印刷やその他の機能をご利用になるとき

インストール完了後、印刷やその他の機能をご使用になるときに、セキュリティー許可を促す画面が表示されることがあります。この場合も許可をしてください。拒否をした場合の対処や印刷に使用するポートの通信許可の方法については、セキュリティーソフト提供元にお問い合わせください。

●本製品のネットワーク機能をご利用になるとき（Windows®）

次の機能をご利用いただく場合は、セキュリティー設定を行う必要があります。

- ネットワークスキャン
- ネットワーク PC-FAX 受信
- リモートセットアップ

それぞれのセキュリティーソフトの設定で、次のポート番号を追加してください。
ポート番号の追加方法は、お使いのセキュリティーソフトの取扱説明書、またはセキュリティーソフト提供元にお問い合わせください。

機能	名称 *	ポート番号	プロトコル （TCP/UDP）
ネットワークスキャン	例） Brother NetScan	54925	UDP
ネットワーク PC-FAX 受信	例） Brother PC-FAX RX	54926	UDP
リモートセットアップ	例） Brother RemoteSetup	137, 161	UDP

*名称は任意です。

ネットワークの設定がうまくいかないときは

設定しているネットワーク情報（IP アドレスおよびサブネットマスク）に誤りがないかどうかを確認します。
Windows® の場合は、ネットワーク接続で印刷ができない場合にネットワーク設定の確認画面が表示されます。画面の指示に従ってください。
問題が解決したら［完了］をクリックします。
問題が解決しない場合は、［次へ］をクリックし、画面の指示に従ってください。「ネットワークプリンター診断修復ツール」を使って自動で修復できるかどうかをお試しください。

Windows Vista® または、Windows® 7 をお使いの場合、ユーザーアカウント制御画面が表示されたら、［続行］または［はい］をクリックします。

操作が完了したら、「ネットワークプリンター診断修復ツール」の［テストページの印刷］をクリックします。テストページで製品のネットワーク接続状況を確認します。

Macintosh の場合は、お使いのパソコンと本製品の IP アドレスおよびサブネットマスクを手動で確認、再設定を行ってください。再設定について詳しくは、下記をご覧ください。
⇒「手動で確認、変更する」P.6-9

「ネットワークプリンター診断修復ツール」を使用する（Windows® のみ）

「ネットワークプリンター診断修復ツール」でネットワークプリンターを診断し、その結果を表示、場合によっては問題を自動で修復します。

- Windows® XP/Windows Vista®/Windows® 7 を使用している場合は、管理者権限でネットワークにログインしてください。
- 本製品の電源を入れ、パソコンとネットワーク接続した状態で、次の手順を実行してください。

（Windows® XP/Windows Server® 2003/2008 の場合）
［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［アクセサリ］－［エクスプローラ］の順にクリックし、［マイ コンピュータ］をクリックします。

（Windows Vista® の場合）
［スタート］メニューから［コンピュータ］をクリックします。

（Windows® 7 の場合）
［スタート］メニューから［コンピューター］をクリックします。

［ローカルディスク (C:)］－［Program Files (Program Files (x86))］－［Browny02］－［Brother］の順に選び、［BrotherNetTool.exe］をダブルクリックします。

Windows Vista® または、Windows® 7 をお使いの場合、ユーザーアカウント制御画面が表示されたら、［続行］または［はい］をクリックします。

画面の指示に従い、診断修復を行います。

「ネットワークプリンター診断修復ツール」を使っても改善しない場合は、ネットワーク管理者へご相談ください。

手動で確認、変更する

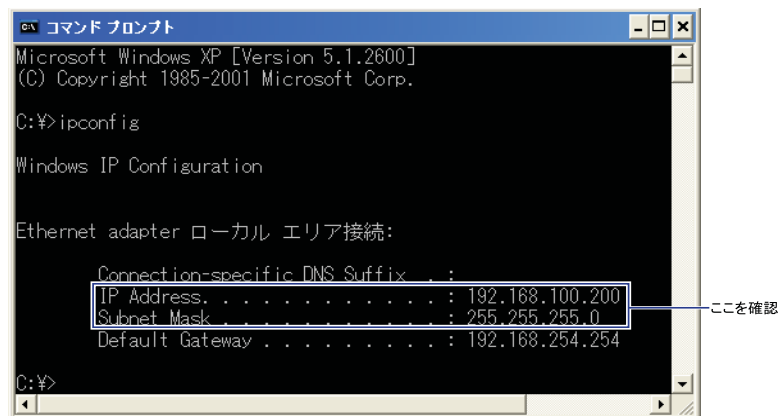
お使いのパソコンの IP アドレスおよびサブネットマスクは以下の手順で確認できます。必要に応じて、本製品の設定を変更してください。

パソコンのネットワーク情報を調べる

Windows® の場合

1. ［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［アクセサリ］を選び、［コマンド プロンプト］をクリックします。

2. 「ipconfig」と入力し、Enter キーを押します。

3. 「IP Address（IP アドレス）」と「Subnet Mask（サブネットマスク）」の行を探して、設定値を確認してください。
例）

4. 「exit」と入力し、Enter キーを押して終了します。

Macintosh の場合

1. 画面左上の［アップルマーク］をクリックします。

2. ［システム環境設定］-［ネットワーク］をクリックします。

3. ［詳細］-［TCP/IP］をクリックします。

4. 「IPv4 アドレス（IP アドレス）」と「サブネットマスク」の設定値を確認してください。

本製品の IP アドレスの確認方法

ネットワークの設定内容リストを印刷して、「IP Address（IP アドレス）」と「Subnet Mask（サブネットマスク）」の行を探して、設定値を確認してください。

⇒「ネットワーク設定リストの出力」P.4-10

例）

お使いのパソコンと本製品の **2** つの **IP** アドレスを確認してください。下図にあるように、ネットワークアドレス部が同じかどうかを確認します。例えば、**Subnet Mask**（サブネットマスク）が、「**255.255.255.0**」の場合、右端の各機種のアドレスだけが違う状態が正常な状態です。

Subnet Mask（サブネットマスク）は、**IP Address**（**IP** アドレス）に被せるマスクと考えてください。下図の例では、**Subnet Mask**（サブネットマスク）の「**255**」にかかる部分がネットワークアドレス部、「**0**」にかかる部分がホストアドレス部と呼ばれ、各機器のアドレスになります。

例）**IP** アドレスが「**192.168.100.250**」の場合

ネットワークアドレス部　　ホストアドレス部

IPアドレス　192.168.100.250

サブネットマスク　255.255.255.0

IP アドレス	あるパソコンは 192.168.100.202、ほかのパソコンには 192.168.100.203、本製品には 192.168.100.250 のように、サブネットマスクの「0」にかかる部分の数値を 1 ～ 254 の間で設定してください。
サブネットマスク	通常は、255.255.255.0 であれば問題ありません。プリンターを使用するすべてのパソコンで同じ値にしてください。

● 正常な状態なら・・・

IP アドレスに関しては問題ありません。次の確認へ進んでください。

● 正常な状態でないなら・・・

IP アドレスが重複しないように設定し直してください。

例）パソコン側の **IP** アドレス　：**192.168.100.202**

　　本製品側の **IP** アドレス　　：**192.168.100.250**

⇒「IP アドレス」P.4-2

●ルーターやスイッチングハブの電源を入れなおす

頻繁に接続しなおしたり、接続している製品の IP アドレスの変更を繰り返し行ったりした直後には、IP アドレス設定に誤りがなくても正常に動作しない場合があります。ルーターやハブの再起動（電源の入れなおし）をしてください。

複合機本体と通信ボックスの接続がうまくいかないときは（MFC-J810DN/J810DWN/J860DN/J860DWN のみ）

複合機本体と通信ボックスの接続方法をお買い上げ時の状態に戻します（初期化）。先に通信ボックスで操作をしたあと、続けて複合機本体の操作を行います。初期化を行うと、無線 LAN の設定がすべてリセットされます。無線 LAN で接続する場合は、初期化後、無線 LAN の設定を再度行ってください。設定の方法について詳しくは、別冊の「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

通信ボックスの［機能 / 確定］を押し、［▼ ⏮］/［▲ ⏭］で【0. ショキ　セッテイ】を選びます。

［機能 / 確定］を押し、［▼ ⏮］/［▲ ⏭］で【7. セッテイリセット】選びます。

［機能 / 確定］を押し、［▼ ⏮］/［▲ ⏭］で【3. ボックスセツゾクリセット】を選びます。

［機能 / 確定］を押します。

【ボックスセツゾクリセット ?】と【▼　リセット　▲　キャンセル】が交互に表示されます。

［▼ ⏮］（リセット）を押します。

【サイキドウ　シマスカ ?】と【▼　スル　▲　シナイ】が交互に表示されます。

［▼ ⏮］（スル）を押します。

数秒後に通信ボックスが再起動します。
再起動が完了したら、引き続き、複合機本体のリセットを行います。

複合機本体画面の【メニュー】を押し、【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】、【設定リセット】、【通信ボックス接続リセット】の順に押します。

【最初に　通信ボックスの［機能 / 確定］を押してショキセッテイ　>　セッテイリセット　>　ボックスセツゾクリセット　を実行してください　はい 実行しました / リセットをやめます】と表示されます。

【はい 実行しました】を押します。

【再起動しますか ? 実行する場合は［はい］を 2 秒間押してください　キャンセルする場合は［いいえ］を押してください / はい / いいえ】と表示されます。

【はい】を、2 秒間押します。

数秒後に複合機本体が再起動し、複合機本体と通信ボックスがアドホック接続された状態になります。

第 7 章
付録

第 7 章 付録

用語集

● ADSL
Asymmetric Digital Subscriber Line の略。銅線の一般加入者電話（アナログ）回線を利用して、数 M ～数十 Mbps の高速データ通信を可能にする通信方式です。

● APIPA
Automatic Private IP Addressing の略。IP アドレスの自動的な割り当て管理機能です。本製品では最初に自身のシステムに割り当てる IP アドレスを「169.254.1.0 ～ 169.254.254.255」の範囲からランダムに 1 つ選びます。そして、ARP 要求をネットワークにブロードキャストすることによって、その IP アドレスがほかのシステムで利用されていないかどうかを確認します。もしほかのシステムから ARP の応答が返ってくれば、その IP アドレスは使用中であるとみなし、別の IP アドレスで再試行します。このようにして未使用の IP アドレスを見つけ、自身のシステムに割り当てることによって、IP アドレスが重複しないことを保障します。

● ARP
Address Resolution Protocol の略。IP アドレスから MAC アドレス（イーサネットアドレス）を求めるためのプロトコルです。

● BOOTP
BOOTstrap Protocol の略。ハードディスクを搭載しないディスクレスクライアントシステムが、ネットワークアクセスを行うための IP アドレスやサーバーアドレス、起動用プログラムのロード先などを見つけだし、システムを起動できるようにすることを目的として開発された UDP/IP 上のプロトコルです。BOOTP を利用すれば、ネットワーククライアントの IP アドレスやノード名、ドメイン名、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイアドレス、DNS サーバーアドレスなどの情報を、クライアントの起動時に動的に割り当てられるようになります。TCP/IP ネットワークでは、各クライアントごとにこれらのネットワーク情報を設定する必要がありますが、BOOTP を利用すれば、クライアントの管理をサーバー側で集中的に行えるようになります。そのあと、一部を改良された DHCP が開発され、広く利用されるようになっています。

● DHCP
Dynamic Host Configuration Protocol の略。DHCP は、IP アドレスやサーバーアドレスなどの設定ファイルを起動時に読み込めるように開発された BOOTP（BOOTstrap Protocol）をベースとする上位互換規格です。
BOOTP は、クライアントの IP アドレスやノード名などをあらかじめ決定しておく必要がありましたが、DHCP では、クライアントがネットワークに参加するためのすべてのパラメーター（IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、ドメイン名など）を自動的に割り当てることができます。サービスを実行するにはサーバーもしくは、その機能を有するルーターが必要です。

● DNS
Domain Name System の略。Domain Name System という体系で命名されたホスト名（ドメイン名）から IP アドレスを調べるためのサービスです。ネットワーク上の資源を管理・検索するためのシステムです。インターネットの IP アドレスの名前の解決に広く利用されています。

● FTTH
Fiber To The Home の略。電話局から各家庭までの加入者線を結ぶアクセス網を光ファイバー化し、高速な通信環境を構築する計画のことを指します。
光ファイバーを使用すると、高速なインターネット接続や格安なひかり電話サービスを利用することができます。

ISDN

Integrated Services Digital Network の略。「総合デジタル通信網」と呼ばれるサービス体系の総称です。

LAN

Local Area Network の略。同一フロア、同一のビル内などにあるパソコン同士を、Ethernet などの方法で接続したネットワークのことを指し、閉鎖されたネットワークという位置付けがあります。

MAC アドレス（イーサネットアドレス）

Media Access Control の略。OSI 参照モデルのデータリンク層で定義されるインターフェイスカードのアドレス。機器内部に記憶されているので、ユーザーが変更することはできません。

mDNS（multicast DNS）

DNS サーバーが存在しないような小規模なローカルエリアネットワーク環境においても、クライアントコンピューターがネットワーク上に存在する機器を名前で検索して利用できるようにする機能です。Apple Mac OS X の簡易ネットワーク設定機能などで使われています。

ping

Packet InterNetwork Groper の略。相手先ホストへの到達可能性を調べるコマンドです。

RARP

Reverse Address Resolution Protocol の略。TCP/IP ネットワークにおいて、MAC アドレス（イーサネットアドレス）から IP アドレスを求めるのに使われるプロトコルです。

SOHO

Small Office / Home Office の略。小人数のオフィスや、家庭で仕事をする個人事業者を指します。大企業と対照的に使用されることが多いようです。

TCP/IP

Transmission Control Protocol / Internet Protocol の略。インターネットで使用されているプロトコル、通信ソフト（アプリケーション）を特定して通信路を確立するプロトコル（TCP）と、通信経路（IP）から構成されています。OSI 参照モデルでは TCP はレイヤー 4、IP はレイヤー 3 に対応しています。

WINS

Windows® Internet Name Service の略。Windows® 環境で、ネームサーバーを呼び出すためのサービスです。サービスを実行するにはサーバーが必要です。

WWW

World Wide Web の略。インターネットでの情報検索システム、サービスシステムのひとつです。

カテゴリー

LAN ケーブルの品質を指します。カテゴリー 5 は 100BASE-TX で利用されています。将来ギガビット・イーサネット（1000BASE-T）によるネットワークを想定する場合は、カテゴリー 6 を選択することが推奨されています。カテゴリー 5 で保証される周波数帯域は 100MHz までですが、カテゴリー 6 では 250MHz まで保証されています。また、LAN ケーブルは UTP ケーブルと呼ばれる場合もあり、UTP は Unshielded Twisted Pair の略で、「より線」のことを指しています。シールド付きのものは、STP ケーブルと呼ばれます。

●ゲートウェイアドレス

ネットワークとネットワークを接続する際の、外部のネットワークとの接点となるホストの IP アドレスを指します。
ゲートウェイは、別名「デフォルトルーター」や、単に「ルーター」と呼ばれる場合もあります。
ルーターは、同一ネットワーク内に存在するホストである面と、ほかのネットワークにも同時に所属している両面を持っています。

●サブネットマスク

ネットワークを複数の物理ネットワークに分割するのに使用します。サブネットマスクはクラスごとに固定されています。

クラス A	255.000.000.000
クラス B	255.255.000.000
クラス C	255.255.255.000

ルーターの取扱説明書によっては、192.168.1.1 / 255.255.255.0 のことを、192.168.1.1/24 と表記している場合があります。255.255.255.0 を 2 進数に換算すると、先頭から 1 が 24 個並びます。"/24" とは、この事を指します。24bit 以外のマスク値を設定することも可能ですが、IP 管理が複雑になりますので、マスク値は 24bit でご利用することをお勧めします。なお、ローカルネットワークで利用する IP アドレスのことをプライベート IP アドレスと呼び、こちらもクラスがわかれています。

クラス A	010.000.000.000 ～ 010.255.255.255
クラス B	172.016.000.000 ～ 172.031.255.255
クラス C	192.168.000.000 ～ 192.168.255.255

●スイッチング・ハブ

スイッチング機能を持つハブ（集線装置）。パケットをその宛先に応じて振り分け、ネットワークトラフィックを局所化して、ネットワークの全体的な通信バンド幅を増やすことができるのが特徴です。10BASE-T や 100BASE-TX などのネットワークでは、各ネットワーク機器同士をハブで相互に接続していますが、Ethernet の通信方式の関係上、ノード数が増えると有効な帯域幅が急速に飽和するという特性を持っています。そこで、実際に通信をするポート同士だけを直結して通信を行い、それ以外のポートへは流れないようにするスイッチング技術が開発されました。これを実装したハブをスイッチング・ハブといいます。

●ノード

node。ネットワークに接続されているコンピューターなどの機器を指します。「ノード名」と「ホスト名」は同じ意味です。

●ルーター

ネットワーク間（LAN と LAN、LAN と WAN）の接続を行うネットワーク機器の一つです。ルーターはインターネット接続されたアドレスを変換し、LAN 内からアクセスできるようにしたり、LAN 内のサーバーを指定したポートを通じて外部に公開したりする NAT（アドレス変換）の機能があります。

無線 LAN に関する用語

IEEE802.11b/IEEE802.11g/IEEE802.11n

IEEE（米国電気電子学会）で定めた無線 LAN 規格で、IEEE802.11n は IEEE802.11g 及び IEEE802.11b の上位互換です。通信速度は IEEE802.11b が最大 11M ビット / 秒、IEEE802.11g が最大 54M ビット / 秒、IEEE802.11n では 100M ビット / 秒以上の通信が可能です。本製品の無線 LAN 機能は IEEE802.11b、IEEE802.11g 及び IEEE802.11n の規格に対応しています。

AES

米国商務省標準技術局（NIST）によって制定された、TKIP より強力な暗号化方式です。
IEEE802.11i の暗号化方式の一つに採用されています。

AOSS™

AirStation One-Touch Secure System の略。バッファロー社の無線 LAN アクセスポイント、エアーステーションシリーズに搭載されている機能で、接続設定とセキュリティー設定が簡単に行えます。

ASCII

American Standard Code for Information Interchange の略。アメリカ規格協会が定めた情報交換用の文字や記号を数値表現したものです。例えば ASCII コードの「41」はアルファベットの「A」を表します。

HEX

HEXADECIMAL の略。数字の 0 ～ 9 及びアルファベットの A ～ F を使用する 16 進数表示です。

MAC アドレスフィルタリング

無線 LAN アクセスポイントに MAC アドレスを登録することにより、許可された無線 LAN 端末以外は接続できなくなります。

SSID

Service Set Identifier の略。ネットワーク名とも呼ばれる SSID は、無線 LAN をほかの無線 LAN と区別するネットワークの識別子のことで、無線 LAN をグループ化するために用いられます。通常は無線 LAN アクセスポイントから発信されるビーコン等のパケットに含まれますが、ネットワークによっては、セキュリティー強化の為に SSID を表示しないようにする場合もあります。（SSID の隠ぺい）

TKIP

Temporal Key Integrity Protocol の略。WEP の後継にあたる暗号化の規格で、暗号化方式は WEP と同じ RC4 を利用しています。
TKIP は一定時間ごと、または一定パケット量ごとにネットワークキーが更新されるため WEP キーによる暗号化よりも高いセキュリティーになります。

WEP

Wired Equivalent Privacy の略。IEEE802.11 で標準化されている暗号化方式です。無線 LAN アクセスポイントやクライアントで共通のネットワークキー（WEP キー）を設定して通信の暗号化を行います。設定したネットワークキーが一致しない限り暗号化されたデータを解読することができません。

WPA-PSK

無線 LAN の業界団体 Wi-Fi Alliance® が提唱する WPA™（Wi-Fi Protected Access®）の Personal モードです。WPA-PSK は、無線 LAN で使用される暗号化技術を用いた認証方式の一つであり、TKIP または AES 暗号化を使用した PSK（事前共有キー）による認証を行います。

WPA2-PSK
次世代標準暗号化方式の「AES」を使用した強力な暗号技術を用いた承認方式の一つであり、AES ネットワークキーを使用した PSK（事前共有キー）による認証を行います。
WPA2-PSK 対応の無線 LAN 端末であれば WPA-PSK 互換モードにより、従来使用されている WPA 対応機器との通信もできます。

WPS
Wi-Fi Protected Setup™ の略。Wi-Fi Alliance® が考案した、簡単に無線接続設定ができる規格です。無線 LAN アクセスポイントと無線接続を行いたい機器が WPS に対応していれば、セットアップボタンを押すだけで設定が完了して接続できるようになります。プッシュボタン方式以外には、PIN（Personal Identification Number）と呼ばれる機器固有の番号を入力・登録する PIN コード方式があります。PIN コード方式は主にパソコン向けであり、プッシュボタン方式はゲーム機やプリンターなどのように入力インターフェイスを持たない機器向けの仕様です。

アドホック（Ad-hoc）通信
無線 LAN アクセスポイントを経由しないで、直接それぞれの無線 LAN 端末間で通信するネットワークです。このタイプのネットワークは、アドホックモード、またはピア・ツー・ピア・ネットワークとも呼ばれています。

インフラストラクチャ（Infrastructure）通信
無線 LAN アクセスポイントを経由して、それぞれの無線 LAN 端末が通信するネットワークです。
インフラストラクチャモードとも呼ばれています。

セキュリティー（Security）
無線 LAN では電波の届く範囲内であれば自由にそのネットワークへ接続することが可能になります。従って、悪意を持った第三者による通信内容の盗聴や、無断でネットワークに侵入されて個人情報の取り出しやデータの改ざん、システムの破壊などの行為を許さないために暗号化などの安全保護を行うことを推奨します。この安全保護のことをセキュリティーといいます。

チャンネル（Channel）
無線 LAN では通信のためにチャンネルが使われます。それぞれのチャンネルは予め決められたそれぞれ異なる周波数帯域を持っています。一つの無線 LAN 内のすべての無線 LAN 端末は、同じチャンネルを使う必要があります。

ネットワーク認証
無線 LAN で使われる認証方式の総称です。本製品がサポートしている認証方式としては、オープンシステム認証、共有キー認証、WPA/WPA2-PSK などがあります。

信号強度
無線 LAN 端末が無線 LAN アクセスポイント、またはほかの無線 LAN 端末から受信する電波の強さのことです。

無線 LAN アクセスポイント（アクセスポイント）
個々の無線 LAN 端末は、ネットワークの中心にある無線 LAN アクセスポイントを介して通信します。また、無線 LAN アクセスポイントはセキュリティー管理も行っています。

ネットワークの仕様

有線 LAN

項目	内容	
ネットワーク	10/100 BASE-TX	
プロトコル	IPv4	ARP, RARP, BOOTP, DHCP, APIPA(Auto IP), WINS/NetBIOS name resolution, DNS Resolver, mDNS, LLMNR responder, LPR/LPD,Custom Raw Port/Port9100, FTP Server, SNMPv1/v2c, TFTP server, ICMP, Web Services (Print/Scan)

無線 LAN

項目	内容	
ネットワーク	IEEE802.11b/g/n ワイヤレス	
ネットワークのセキュリティー	SSID (32 chr), WEP 64/128bit, WPA-PSK(TKIP:AES), WPA2-PSK(AES)	
プロトコル	IPv4	ARP, RARP, BOOTP, DHCP, APIPA(Auto IP), WINS/NetBIOS name resolution, DNS Resolver, mDNS, LLMNR responder, LPR/LPD,Custom Raw Port/Port9100, FTP Server, SNMPv1/v2c, TFTP server, ICMP, Web Services (Print/Scan)

索　引